

商 工 労 政 課

○ 商工関係

1 消費生活関連事業

伊勢市消費生活センターでは、架空請求や悪質商法、クーリング・オフなど、増加する消費生活にまつわるトラブルに関し、専門相談員による相談を行った。電話または窓口にて相談者にアドバイスを行ったり、相談内容によっては、事業者への確認や交渉の手助けを行うなど、消費者問題の早期解決に努めた。

また、被害を未然に防ぐために高齢者クラブを中心に、出前講座を開催した。

消費生活相談件数	438 件
----------	-------

2 融資対策事業

小規模事業者の資金運営円滑化を図るため、三重県の融資制度である小規模事業資金等の貸付を受けた事業者に対して、保証料の補給または利子の補給補助を行った。

(1) 商工制度資金利子補給事業補助金

平成 18 年 12 月末までに小俣町商工会の斡旋により国・県の制度融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じ利子の補給補助を行った。

件 数	利子補給補助金額	取 扱 金 融 機 関 名
4 件	15,286 円	第三銀行、日本政策金融公庫

(2) 小規模事業資金保証料補給補助金

伊勢商工会議所または平成 19 年以降に小俣町商工会の斡旋により、三重県信用保証協会の保証を得て小規模事業資金の融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補助を行った。

件 数	保証料補給補助金額	取 扱 金 融 機 関 名
182 件	7,135,069 円	百五銀行、第三銀行、三重信用金庫、中京銀行ほか

(3) 中小企業信用保険法の規定による特定中小企業者の認定

中小企業者が三重県信用保証協会の信用保証を受けられる融資金額は、中小企業信用保険法によりその上限が定められているが、営業不振や取引先の倒産などで緊急の事由により資金需要が発生した際、一定要件に該当する場合に、一般の保証枠とは別枠で信用保証による新たな融資が受けられるように、「特定中小企業者」として認定し、中小企業者の資金調達の円滑化を図った。

認 定 要 件	認定件数	根 拠 法 令
全国的に業況の悪化している業種に属する中小企業者	197 件	中小企業信用保険法第 2 条第 4 項第 5 号

3 中小企業振興対策

中小企業の経営改善及び経営強化を支援するため、伊勢商工会議所内にある伊勢中小企業相談所及び小俣町商工会の実施する事業に要する費用に対して、補助金を交付した。

助 成 団 体	事 業 内 容	補助金額
伊勢商工会議所 中小企業相談所	中小企業等に対する ・講習会、セミナーの開催 ・融資相談、経営指導、金融の斡旋 など	円 9,500,000
小俣町商工会	中小企業、個人商店等に対する ・経営指導や記帳指導 ・決算、年末調整、消費税申告指導 など	7,200,000

4 中心市街地活性化推進事業

(1) 空店舗対策事業

中心市街地商店街の集客力及び機能回復を促進することを目的に、市がいせTMO（事務局：商工会議所）が実施する「空店舗活用モデル事業」、「チャレンジショップ事業」、「テナント確保支援事業」に補助金を交付した。

これらの事業は、店舗開設希望者の創業及び経営支援となるばかりでなく、商店主の意識向上や商店街における賑わいの創出にも繋がっている。

ア 空店舗活用モデル事業

	商店街名	名 称	開設日	補助金額
継続	明倫商店街	学びや	平成 23 年 3 月	円 394,255

イ チャレンジショップ事業

	商店街名	店 舗 名	業 種	補助金額
新規	高柳商店街	八百屋さん	青果販売	円 200,000
	新道商店街	カウンセリング 「自然」	占い	120,000
計				320,000

ウ テナント確保支援事業

	商店街名	名 称	業 種	補助金額
新規	新道商店街	東海日動パートナーズ	保険業	527,100円
		C h e r	喫茶	195,000
	計			

(2) TMO構想推進協働事業

中心市街地を活性化させるためには、賑わいの場、もてなしの場、快適で楽しい暮らしの場としての再生が求められており、地域住民や商店街等の相互の連携と協力が重要であることから、まちづくりに取り組む活動拠点及び「いせTMO」の活動拠点を中心市街地に移設し、地区住民、商業者、行政、商工会議所等との連携を強化させながら、賑わい創出のまちづくりを展開してきた。

また、中心市街地PR事業として、各種イベントの開催やチャレンジショップの公募などの情報発信を行った。

(3) 商業まちづくり補助金事業

中心市街地商店街、またはこれに類する団体の発展及び活性化を図ることを目的として、地域と一体となって消費者に魅力ある商店街づくりのために実施するいせTMO事業に補助金を交付し、事業（提案型）に対し補助金を交付した。

選 定 団 体	事 業 名	補助金額
伊勢銀座新道商店街振興組合	しんみち屋台村と連携事業（皇學館大学と厚生まちづくりの会）	350,000 円
伊勢高柳商店街振興組合	東北復興支援事業	303,375
河崎まちづくり衆	河崎と外宮を結ぶ歴史を活かしたまち歩きマップ作成事業	300,000
浦之橋商店街振興組合	うらのはし界限「伊勢の今昔ミニ探訪」周知事業	100,000
明倫商店街協同組合	「澤村榮治生誕の地」をPRすることによる商店街への誘客事業	200,000
計	—	1,253,375

5 住宅・店舗リフォーム促進事業

市内関連産業の振興を促進し、地域経済の活性化を図るため、住宅又は店舗のリフォーム又は増改築を行う者に対し、補助金を交付した。

区 分	補助件数	補助金額
店 舗	件 8	円 1,251,000
住宅・店舗 併 用	10	1,670,000
住 宅	92	6,707,000
計	110	9,628,000

6 地域産品販売促進事業

平成 25 年の式年遷宮に向け、伊勢の魅力を全国に発信し、特産品の P R 及び販路拡大を図るため、伊勢市産業振興会等と連携を図り、首都圏において物産展を開催した。

開催日	名 称	開催場所
23. 9. 27～28	伊勢の観光物産展	東京交通会館（東京都・有楽町）
24. 3. 7～ 9	伊勢の観光物産展	東京交通会館（東京都・有楽町）

・その他物産展等の状況

開 催 日	名 称	開 催 場 所
23. 12. 10～11	2011 中日三重お伊勢さんマラソン	三重県営総合競技場陸上競技場 体育館周辺
24. 2. 19	第 5 回美し国三重市町対抗駅伝	三重県営総合競技場周辺

7 省エネルギー対策事業

東日本大震災や浜岡原子力発電所の停止を受け、電力需要の逼迫が予想されたことから、庁内に伊勢市電力・エネルギー対策本部を設置し、市役所の取り組み等を協議した。

市役所の取り組みとして、空調稼動時間の短縮、不用な時間の蛍光灯の消灯や節電型タップによるパソコン等の待機電力の削減等を各課に働きかけたとともに、本庁舎、御菌総合支所、二見総合支所への遮熱フィルムの貼付工事を行い、消費電力の軽減を図った。

また、各小中学校においては、電力デマンド監視装置とモニターを設置し、「電力の見える化」を進め、節電と省エネに対する取り組みを日常化できるように努めた。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金 額	着手	完了
市 立 小 中 学 校 (36 校)	(注) 電力デマンド監視業 務委託	電力デマンド監 視業務 一式	円 1,058,400	23. 8. 1	24. 3.31

(注) 教育総務課へ執行委任

イ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金 額	着工	完工
岩 渕 1 丁 目 地 内	(注1) (注2) 市役所本庁舎遮熱 フィルム貼付工事	市役所本庁舎遮 熱フィルム貼付 工事 一式	円 4,426,800	23. 7.29	23.10. 5
御 菌 町 長 屋 地 内	(注3) 御菌総合支所庁舎 遮熱フィルム貼付 工事	遮熱フィルム貼 付工事 一式	199,500	23. 9.26	23.10.25
二 見 町 茶 屋 地 内	(注4) 二見総合支所庁舎 遮熱フィルム貼付 工事	遮熱フィルム貼 付工事 一式	525,000	23.10.11	23.11. 7
計	3 件	—	5,151,300	—	—

(注1) 建築住宅課施行

(注2) 管財契約課へ執行委任

(注3) 御菌総合支所地域振興課へ執行委任

(注4) 二見総合支所地域振興課へ執行委任

○ 労政関係

1 雇用対策事業

(1) 若年求職者等支援事業

伊勢地域の雇用情勢は引き続き厳しい状況が続いており、特に若者に関しては求人と求職のミスマッチも大きい。このことから、若年求職者などを対象とする相談業務等を行った。

○ 若年求職者支援

三重県の設置する「おしごと広場みえ」と連携し、キャリアカウンセラーによる個別面談等を実施した。

- ・実施期間 平成23年4月～平成24年3月（毎月第2・第4火曜日）
- ・委託先 社団法人日本産業カウンセラー協会中部支部三重事務所
- ・委託料 299,040 円
- ・実績 カウンセリング件数 延べ51件

○ 若年無業者支援

国の設置する「いせ若者就業サポートステーション」と連携し、臨床心理士による個別面談、自立のためのセミナー・講演会等を実施した。

- ・実施期間 平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月
- ・委託先 N P O 法人いせコンビニネット
- ・委託料 1, 222, 830 円
- ・実績 相談件数 延べ 1, 702 件 セミナー・講演会等開催 20 回

(2) 緊急雇用創出事業

現下の厳しい雇用情勢に対処するため、短期的な雇用・就業機会の創出を目的として、25 事業を実施した。

事業名	担当課	内 容	新規雇用のべ人数
学校図書館活性化支援事業	学校教育課	子どもの読書活動推進のため、図書（資料）の受入れ、廃棄、データベース化、効果的な資料配架などの実施を通じて、学校図書館を活性化した。	8 人
外国人児童生徒支援事業	学校教育課	日本語支援が必要な外国人児童生徒の学習及び学校生活の支援を行った。	4
歴史的資料等整理事業	文化振興課	市の歴史的資料である旧市川造船所資料その他民俗資料等について、分類、写真撮影、カード作成、データ入力等を実施した。	13
社会スポーツ団体等育成事業	生涯学習・スポーツ課	総合型地域スポーツクラブの新設に向けた支援及び各種スポーツ関連団体の実施している各事業の運営に協力しながらこれをデータベース化し、類似団体等にその情報提供をすることを通じて各組織の強化を図った。	4
児童生徒自立サポート事業	教育研究所	学校の中で、教室に入れない児童生徒の、自立への意欲を高め、集団生活への適応が図られるよう支援した。	2
木造住宅耐震化等促進啓発事業	危機管理課	住宅を戸別訪問して無料耐震診断の補助制度等を P R し、住宅の耐震化を促進した。	2
危険物防火対象物施設データ整理事業	消防本部予防課	届出・許認可事務の記録となる危険物防火対象物台帳をデータ化した。	1
防犯対策支援事業	危機管理課	防犯パトロールを実施することにより、児童・生徒への不審者からの声かけ及び街頭犯罪等を抑止した。	2
防災行政無線整備支援事業	危機管理課	防災行政無線の整備に関して、占有許可申請及び住民説明会の資料作成等を行った。	2
道路改良等要望箇所電子データ化事業	監理課	平成23年度の地元要望（道路改良・側溝整備等）箇所を、M－G I S へ入力し、電子データ化を図った。	1
緩衝帯整備モデル支援事業	農林水産課	野生獣出没による被害防止の一環として、隠れ場を無くすなど野生獣を寄せつけない環境整備（緩衝帯整備）を目的に、田畑と隣接している森林等の樹木の伐倒や下刈り、枝払い等を実施した。	3

獣害対策強化事業	農林水産課	獣害被害を受けている地域を重点的にパトロールを行い、野生動物出没時に追払いや、発信機付き猿群れの動向を調査して情報提供を行うなど、被害軽減に努めた。	2人
幼保一体化に係る推進事業	教育総務課	認定こども園の円滑な運営を図るため、市長事務局と教育委員会事務局との連携による総合相談窓口を設置した。	3
特定健康診査受診勧奨事業	医療保険課	特定健康診査受診率向上のための電話による受診勧奨及び関係事務の補助を実施した。	1
伊勢市みえる化推進調査事業	広報広聴課	全国の地方自治体の広報活動に関する先進事例等を収集・研究することにより、伊勢市の市民への情報提供のあり方を改善した。	3
市有地台帳整備事業	用地課	市有地の現地確認調査、法務局への登記簿、公図等の登記資料の照合と整理を実施した。	3
事務事業データ整理事業	情報調査室	各種事務事業のデータを整理し、市政に関する各種公表資料を整備した。また、市民投票制度の先進事例収集を行った。	2
特別徴収推進事業	課税課	未登録事業所のデータ化及び特別徴収推進事務を行った。	4
保存文書等整理事業	二見総合支所地域振興課・小俣総合支所地域振興課	合併後、新市として保管整理の統一がされていない旧二見町・小俣町の保存文書及び二見総合支所・小俣総合支所で管轄する文書について分類整理を行った。	6
登記情報照合入力事業	課税課	固定資産税課税台帳と登記情報を照合し、適正・公平な課税を図った。	9
補装具・日常生活用具給付履歴データベース化	障がい福祉課	紙ベースで管理している給付履歴をデータベース化して既存ネットワークにて閲覧可能とし、問い合わせ時間の短縮等、市民サービスの向上を図った。	5
介護保険事業計画策定事業	介護保険課	第5期の「伊勢市介護保険事業計画」（平成24～26年度）策定に係るデータ入力、分析、介護保険推進協議会資料作成等を行った。	2
生活保護費債権管理事業	生活支援課	生活保護費債権の管理台帳を作成して、ワーカーへの情報の提供を行うことにより、連携して返還金等の督促及び指導にあたった。	2
介護給付適正化調査事業	介護保険課	国保連システムから出力される複数月の給付明細書の突合により提供される縦覧点検帳票により、重複請求等がないか確認を行うとともに、事業所へ問合せし、住宅改修や福祉用具の実態調査を行った。	1
寿バス乗車券年度更新案内事業	長寿課	75歳以上の方に交付している寿バス乗車券の年度更新にかかる業務実施にあたり、窓口にて来庁者への案内を行った。	1
計			86

(3) ふるさと雇用再生事業

現下の厳しい雇用情勢に対処するため、今後の地域発展に繋がり、安定・継続的な雇用を創出することを目的として、3事業を実施した。

事業名	担当課	内 容	新規雇用のべ人数
伊勢市観光推進事業	観光企画課	観光客誘致の推進のため、市内の観光情報を総括する地元密着型のホームページの充実を図った。	2人
観光地における災害避難マニュアル作成モデル事業	観光企画課	市内最大の観光地「おはらい町」で災害発生時に観光客、従業員および住民がスムーズに避難するためのマニュアルを作成した。	4
日中一時支援事業 (障害児放課後支援)	障がい福祉課	放課後や長期休暇中に、障がいのある児童に日中の活動場所を提供するとともに、保護者等の介護の負担軽減を図るため、障がいのある児童の一時預かり事業を行った。	6
計			12

2 勤労者福祉事業

(1) 中小企業勤労者福祉サービスセンター補助金

中小企業で働く勤労者の福祉制度の充実を推進し、併せて勤労者福祉の向上と中小企業の発展を図るため、伊勢市、鳥羽市、玉城町で構成する社団法人伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンターに対して補助を行った。

なお、同センターは公益法人制度改革に伴い、平成24年度より、一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターとなった。

名 称	社団法人伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンター
所在地	八日市場町13番13号(サンライフ伊勢内)
実施事業	生活安定事業、健康維持増進事業、旅行やスポーツ大会の開催、余暇活動事業、自己啓発事業 など
補助金額	13,284,000円(うち伊勢市負担金10,300,000円)
会員数 (平成24年3月)	658事業所、3,998人

(2) 勤労者ふれあい事業

10月9日(日)県営サンアリーナにて、(社)伊勢志摩労働者福祉協議会等と共催で、福祉フェスティバル「勤労者ゆとりT・I・M・E・y o u・ゆう・遊 i n g」を開催した。

当日は、市内の事業所の勤労者とその家族を中心に約20,000人の参加があり、ゆとりと豊かさの実感できる場、さらには家族ふれあいの場を提供した。

3 高年齢者労働対策事業

○ 高年齢者労働能力活用事業費補助金

高齢化社会が急速に進む中、高年齢者の多様化する就業ニーズに対応するため、労働対策及び生きがい対策の一環として設立した社団法人伊勢市シルバー人材センターの管理運営に対して補助を行った。

なお、同センターは公益法人制度改革に伴い、平成 24 年度より、公益社団法人伊勢市シルバー人材センターとなった。

名 称	社団法人伊勢市シルバー人材センター
所在地	河崎 1 丁目 4 番 35 号
実施事業	高齢者に相応しい臨時的・短期的な就業（軽作業）、福祉・家事援助サービス等の提供
補助金額	20,743,000 円
会員数等 (平成 24 年 3 月)	会員数 929 人、延べ就業人数 80,522 人 受託件数 3,833 件、契約金額 341,047,068 円

4 サンライフ管理運営事業

勤労者福祉施設であるサンライフ伊勢について、平成 18 年 9 月から指定管理者制度に移行しているため、（社）伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンターによる管理運営を実施した。

指 定 管 理 者	指 定 管 理 料 (平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月分)
(社)伊勢・鳥羽・度会地域中小企業 勤労者福祉サービスセンター	5,582,000 円

○ 運営状況

ア 利用件数及び利用者数

区 分	研修室	会議室	職業講習室	教養文化室	体育室	トレーニング室	計
利用件数	件 423	件 201	件 550	件 286	件 772	件 18,779	件 21,011
利用者数	人 4,942	人 1,735	人 18,726	人 4,040	人 18,898	人 18,779	人 67,120

イ 利用料収入

区 分	施設利用料	設備器具 利用料	冷暖房設備 利用料	計
23. 4～24. 3	12,912,785 円	484,790 円	462,920 円	13,860,495 円

ウ 自主事業

区 分	講座の種類と講座数	講座回数	のべ受講者数
趣 味 づ く り	前期 9 種 11 講座 後期 8 種 10 講座	306 回	9,433 人
健 康 づ く り	7 種 9 講座	360 回	8,570 人
計	16 種 20 講座	666 回	18,003 人

エ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金 額	着工	完工
八日市場町 地 内	(注1) サンライフ伊勢 屋上防水工事	ウレタン塗膜防水 645 m ²	円 12,317,550	23. 11. 4	24. 1. 31
〃	(注2) サンライフ伊勢公 共下水道排水設備 工事	排水設備工 管布設工 10m ます設置工 4 箇所 雨水排水工 管布設工 6.9m ます設置工 2 箇所	479,850	24. 1. 27	24. 2. 26
計	2 件	—	12,797,400	—	—

(注1) 建築住宅課施行

(注2) 下水道建設課施行

5 労働福祉会館管理運営事業

○ 伊勢市労働福祉会館運営委員会

新労働福祉会館の改修計画、条例等について、労働福祉会館運営委員会を開催し、協議を行った。

平成 23 年 10 月 17 日 伊勢市労働福祉会館改修工事について

平成 23 年 12 月 22 日 伊勢市労働福祉会館改修工事について

・組 織

委 員 長 副市長

副委員長 産業観光部長

委 員 労働者を代表する者 4 名

公益を代表する者 4 名

市職員を代表する者 2 名

6 伊勢市やすらぎ公園プール

やすらぎ公園プールを開設し、勤労者と市民の福祉の増進と体力の向上を図った。

○ 開設状況

ア 開設期間 平成 23 年 7 月 2 日～8 月 31 日（通常営業 48 日間）

イ 有料入場者数

大 人	小 人	付添人	計
人 4,214	人 7,822	人 1,579	人 13,615

ウ 収入

入場料収入	ロッカー使用料	計
円 4,092,380	円 269,900	円 4,362,280

7 融資対策事業

（１）勤労者持家促進資金貸付金制度

市内に居住又は県内事業所に勤務する勤労者が、市内に自己が居住する住宅を新築・増改築及び購入する時に、東海労働金庫の住宅貸付を利用した場合、その利子を軽減することで、勤労者の負担を緩和し、持家の促進を図った。

利子軽減の財源は、市から東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益を充てている。

なお、協調融資期間は 10 年間で、その期間中は低金利となっている。

新規融資件数	新規融資額	預託金額	協調残高
0 件	0 円	7,450,000 円	2,394,722 円

※市からの預託金額は、年度末に同額が東海労働金庫より返還された。

（２）勤労者教育資金貸付金制度

市内に居住する勤労者がその親族に必要な教育資金について、東海労働金庫が実施する教育資金貸付を利用した場合、その利子を軽減することにより、勤労者の負担の緩和を図った。

利子軽減の財源は、市から東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益を充てている。

なお、協調融資期間は 4 年間で、その期間中は低金利となっている。

新規融資件数	新規融資額	預託金額	協調残高
0 件	0 円	1,000,000 円	0 円

※市からの預託金額は、年度末に同額が東海労働金庫より返還された。

産 業 支 援 課

○ 企業立地推進事業

1 企業立地セミナー～産業人交流会～の開催

首都圏の企業・業界・経済団体等の経営者や担当者を一堂に会して、伊勢市の企業誘致の支援体制を構築するため、産業、観光、文化、自然環境面などの多様な情報発信を行い、首都圏の産業人との連携を深めることを目的に開催した。

開催日時：平成 23 年 11 月 1 日（火）14：30～18：45

開催場所：KKR ホテル東京 東京都千代田区大手町一丁目 4 番 1 号

出席者：130 人（首都圏の製造業を中心とした企業経営者及び役員、金融機関、ゼネコン、経済界で活躍されている地元出身者など。）

内容：受付 14：30～

第 1 部企業立地セミナー 15：00～17：00

市長による伊勢市の紹介等のプレゼンテーション

講演会の実施

講師：増田 寛也 氏（株）野村総合研究所顧問、東京大学公共政策大学院客員教授

第 2 部産業人交流会 17：00～18：45

出席者との交流、情報交換、各ブースでの企業誘致、観光、伝統工芸、食材の P R

2 アンケート調査の実施

（財）日本立地センターに委託して全国の企業を対象に他の自治体との合同形式のアンケート調査を実施した。

発送日：平成23 年 7 月11 日

発送数：15,000 通

回収数：2,150 通（回収率：14.33%）

対象業種：製造業（全般）、道路貨物運送業、倉庫業、運輸に付帯するサービス業、水運業、建築材料卸売業、通信業、情報サービス業、インターネット附随サービス業、その他の小売業、学術・開発研究機関

内容：アンケート調査企業の事業見通し、立地計画等に関する調査、及び参加自治体の用地情報を掲載した「産業用地ダイジェスト」の送付による P R。

3 企業訪問の実施

企業訪問による企業誘致活動、工場新設及び増設計画の情報収集を実施した。また、市内企業の市外流出抑制のための営業活動を実施するとともに、首都圏の企業については市長付顧問（首都圏担当）と連携し企業訪問を実施した。

訪問地域	訪問件数	備考
県外	34 件	(首都圏 26 件、関西圏 2 件、中京圏 5 件、その他 1 件)
県内（市内除く）	16 件	
市内	95 件	
計	145 件	

4 新聞広告等の掲載

立地用地、及び各種優遇制度について各種新聞社への広告掲載をすると共に、インターネットの事業用地閲覧サイトへの掲載を行い周知に努めた。また、神薮工業団地について進入路の案内看板、及び見取り図看板を設置し、見学者への対応の改善を図った。

新聞名	掲載日	発行部数
産経新聞	23. 4. 14、23. 5. 16	127, 100 部
フジサンケイビジネスアイ	23. 6. 7	160, 000 部
中部経済新聞	23. 12. 22、24. 1. 18、 24. 2. 8	94, 700 部

5 伊勢志摩地域産業活性化協議会

- ・構成県市町 伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・南伊勢町・三重県
- ・目 的 企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律（企業立地促進法）に基づき、産業集積の形成又は産業集積の活性化に関する基本的な計画の策定及びその実施に関し必要な事項、その他地域における産業集積の形成又は産業集積の活性化に関し必要な事項について協議を行うことにより、当該地域における産業集積の形成及び産業集積の活性化のために当該地域の地方公共団体等が行う主体的かつ計画的な取組に寄与することを目的とする。

- ・負担金 120, 480 円

（１）基本計画の策定

平成 22 年 5 月から、伊勢志摩地域産業活性化協議会で協議を重ねてきた基本計画について、平成 23 年 7 月 27 日に、関係大臣の同意を得た。

（２）伊勢志摩地域企業立地ガイドブックの作製

伊勢志摩地域の工場適地や、各種優遇制度など、基本計画の概要をまとめたガイドブックを作成した（2, 000 部）

（３）人材育成事業の実施

協議会の事業として「製造管理者育成講座」を開催した。

会場	年月日	参加人数	内容
伊勢市産業支援センター	23. 7. 22～ 23. 11. 14 (7 日間)	28 名	演習・実習を通して、現場で実践的な「Q・C・D・S・M」等の「ものづくり指導」が出来る管理・監督者・リーダーを育成する
志摩市商工会館	23. 7. 19～ 23. 11. 30 (10 日間)	15 名	

6 企業誘致の実績

サン・サポート・スクエア伊勢へ3社の企業誘致を行った。

企業名	業種	面積	用地譲渡価格	新規雇用 予定数	契約日
ヤマナカフーズ（株）	食料品製造業	9,817 m ²	143,507,000 円	5 人	23. 9. 21
（株）菊川鉄工所	生産用機械器具製造業	31,493 m ²	294,609,000 円	14 人	23. 11. 9
みえぎょれん販売（株）	食料品製造業	7,885 m ²	115,206,000 円	47 人	24. 2. 14
計		49,195 m ²	553,322,000 円	66 人	

全体面積 80,724 m² 分譲率 60.94%

○ 工場等誘致奨励事業

1 工業団地ならびに各種奨励制度の周知

サン・サポート・スクエア伊勢並びに、神菌工業団地への誘致・誘導について、より一層推進するため、各種奨励制度の交付要件の緩和を図るとともに、優遇制度について伊勢市ホームページ等に掲載し、周知に努めた。

2 工場等誘致奨励金の交付

本市における産業の振興及び雇用の促進を図り、もって地域の活性化に資するため、伊勢市工場等誘致奨励条例等に基づき、奨励金を交付した。

事業者名	交付決定額	概要
（有）森井工業	710,500 円	（注） 設備投資奨励金（3 年度目）
京セラ（株）	534,375 円	（注） 設備投資奨励金（2 年度目）

（注）事業者の設置する工場等の操業開始後、最初に固定資産税が賦課される翌年度から3年間、固定資産税額の100%、75%、50%を設備投資奨励金として交付。

○ 産業支援推進一般経費

1 企業支援員によるマッチング事業

市内の製造業を中心とした中小企業の活性化を図るため、「企業支援員」3名が市内の主に製造業者を訪問し状況を調査する中で、個々の課題を把握しその解決に向け、企業支援員自らの知識・技術で解決できることは直接対応し、解決が困難な課題に対しては関連支援機関等への橋渡しや各種支援策の紹介を行い、企業の円滑な事業活動を支援した。

2 (株)三重TLOへの加入

企業と大学との交流支援に取り組み、かつ、県内の大学等の研究成果や新技術を産業界に移転する活動を積極的に推進するなど、産学官連携の拠点と位置づけられている(株)三重TLOに継続加入し、地元企業が学術機関へ技術相談したり、大学等のシーズの収集などが安易にできる環境を整えた。

3 関係機関との連携

国・県・大学や高等専門学校をはじめとする支援機関・研究機関などと連携し、中小企業支援のメニューや試験設備の情報を収集するとともに、これら機関と支援体制の繋がりを太くした。

また、市と伊勢商工会議所は、企業支援の面における役割分担を明確にし、さらに密接な連携を図るため、伊勢市産業支援センターの今後の運営について検討を行った。

4 伊勢市産業支援センター運営協議会の開催

伊勢市産業支援センターの円滑かつ適正な運営を図るため、地元企業や関係団体などから構成される運営協議会を開催し、地域企業の意見を施策に反映したり、関係団体との連携・調整に努めた。また伊勢市産業支援センターの指定管理者制度導入に向けて意見聴取を行った。

5 地元企業へ人材の確保

市内企業の状況調査から、高卒の新卒を求めているところがあった。また、市内在住の高校生も市内で就職を希望する傾向が昨今うかがわれる。このような状況の中、将来の伊勢市の産業を担う高校生に、市内企業の状況を周知し就職機会を与えるため、実際に進路指導にあたる高校教諭12名が、12月5日、6日に市内企業を訪問し、企業の内容及び採用状況等について情報収集を行った。

また、地元企業の人材確保の足がかりとして、6月14日、7月12日、8月2日、9月12・13日に、三重大学工学部の学生を対象に地元企業の見学会を開催し、地元企業の会社概要や独自技術などを参加学生にPRし、将来の雇用につながるよう努めた。

6 企業立地・産業支援研修会等への参加

地域活性化につながる企業立地・産業支援を一層推進するため、研修会等に参加し、職員の資質を高め、情報収集に努めた。

年月日	研修会名称	開催場所	主催者及び内容
23. 5. 24	三重県企業立地セミナー	津市	三重県 今年度の企業誘致の進め方等
23. 11. 10～ 23. 11. 11	産業立地研修会	東京都	(財)日本立地センター 企業立地動向と立地戦略

7 指定管理制度導入に伴う業務

行政改革の視点から、民間のノウハウを活用することで専門性を向上させ、より効率的・効果的に施設を維持し、かつ経費の削減を行うことにより、充実したサービスを提供するため、平成24年度から伊勢市産業支援センターの運営を指定管理に移行するにあたり、各種手続や準備を行った。

○ ものづくり推進事業

1 新産業創出支援事業補助金の交付

「新たな製品」を創り出せる優れた技術を持つ中小製造業者又は中小製造業者・団体の育成を図るため、中小製造業者等が行う新製品・新技術の研究開発に対し、補助金を交付し、地場産業の活性化と企業力の強化を図った。

補助金交付事業者及び交付額の決定にあたっては、大学教授をはじめとする学識経験者等から構成される審査会で、事業内容及び実績等の審査を行った。

事業者名	交付確定額	事業内容
(株)松井鉄工所	57,000 円	固体触媒法によるバイオディーゼル燃料製造技術の開発事業
御木本製薬(株)	1,053,000 円	アコヤガイ真珠層色素を利用した新たな機能性化粧品の開発事業

※上記2社とも、複年度事業であり(株)松井鉄工所は、平成23年度は2年度目で、平成22年度交付金額と併せると1,996,000円の交付。御木本製薬(株)は、平成23年度は初年度目で平成24年度交付予定額を併せると2,000,000円の交付予定となる。

2 伝統工芸品等再生支援事業補助金の交付

伝統工芸品産業の振興を図るため、製造業者等が行う後継者育成等の伝統工芸品産業の再生及び発展につながる事業に要する経費に対し、補助金を交付した。

事業者名	交付額	事業内容
(財)伊勢伝統工芸保存協会	194,000 円	ホームページ作成事業

3 伊勢市中小製造業マーケティング力強化支援事業

(1) 先進地域等広域ネットワーク構築事業

事業を展開していく上で、先進地企業、伊勢地域の企業、研究機関をはじめ様々な機関との交流による気づきや連携が重要であるため、市内企業に対してこれらの機関等との交流機会を提供していく。本年は市内企業と大阪府八尾市の「バリテク研究会」との交流会を実施した。また当研究会に参加する企業の工場見学も行った。

年月日	参加企業数	交流先・見学先企業
23. 7. 13～ 23. 7. 14	3 社	八尾市中小企業サポートセンター（大阪府八尾市） (株)中田製作所（大阪府八尾市） (株)塚谷刃物製作所（大阪府八尾市）
23. 8. 25～ 23. 8. 26	5 社	立山工業(株)（大阪府大阪市） (株)ヤマシタワークス（大阪府尼崎市）
24. 3. 16～ 24. 3. 17	17 社	八尾バリテク研究会の17名が伊勢市へ訪問し、2社の企業見学を行う中で企業間交流を図った。 翌日は、産業支援課支援センターで勉強会を行った。

(2) 展示会出展事業

しんきんビジネスマッチング「ビジネスフェア 2011」の展示会において伊勢市産業支援センターのブースを設置し、市内企業が商品を出展しPRを行った。また、展示会出展を計画されている事業所及び新たな企業とのマッチングを求めている事業所などが視察を行なった。

- ア 開催日 平成 23 年 10 月 28 日（金）
イ 出展参加企業 8 社
ウ 視察参加者 12 名
エ 開催場所 ポートメッセなごや

4 企業支援情報の発信

市内中小製造業者に対して、伊勢市産業支援センター及び関連機関の企業支援に関する情報を、メールマガジンとダイレクトメールにて情報提供を行った。

情報提供方法	情報提供企業数	送付件数
メールマガジン(Eメール)	約 170 社	50 回
ダイレクトメール(郵送)	約 550 社	5 回

5 企業データベース、企業カルテの整備

企業支援を行っていくうえで必要な情報を職員間で共有するため、企業の所在地・業務内容・取引先などの基礎情報を集約した「企業データベース」と、企業訪問やこれまでの支援経過を記録した「企業カルテ」を整備した。

6 伊勢市伝統工芸振興シンポジウム・展示会の開催

伊勢市は神宮御鎮座のまちとして全国各地から人々が訪れ、様々な文化の交流がおり、多くの伝統工芸品が生み出されてきた。しかし、伝統工芸品は生活様式の変化などにより需要が低下し、後継者不足などが課題となっている。

このことから伝統工芸品の良さをPRし、現状の課題解決を目的とし、実行委員会形式により、財団法人自治総合センターの補助金を受け展示会及びシンポジウムを開催した。

- ア 主 催 ・伊勢市伝統工芸振興シンポジウム開催実行委員会
・伊勢市
イ 開催日 平成 24 年 2 月 5 日（日） シンポジウム
平成 24 年 2 月 4 日（土）～2 月 5 日（日） 展示会
ウ 場 所 シンポジウム 皇學館大学 記念講堂
展示会 皇學館大学 記念館
エ シンポジウム内容
基調講演
講師 奈良国立博物館 学芸部長 西山 厚 氏
演題 「美術工芸の伝承と再生」
パネルディスカッション
演題 「伝統工芸技術と現代の産業」
参加者数 400 人

オ 展示会 出展内容

- ・伊勢神宮（写真パネル）・伊勢春慶・伊勢漆器・伊勢家具・伊勢根付
- ・伊勢のくり物・伊勢の提灯・伊勢の神殿・伊勢一刀彫・伊勢の浅沓
- ・伊勢の和紙・伊勢の染織・伊勢の陶芸・漆芸教室作品等

参加者数 930 名

7 技術講習会・講座等の開催

(1) 伊勢春慶塗教室

伝統工芸品である伊勢春慶の普及啓発の一環として、これまで漆塗りを体験したことのない人を対象に、木製の弁当箱へ伊勢春慶塗を施す一連の流れを体験してもらった。

ア 開催日 平成 23 年 6 月 1 日（水）～ 8 月 3 日（水）毎週水曜日 全 9 回

イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 漆芸室

ウ 講師 元・工芸指導所長 西井 幸平 氏

エ 受講者数 6 人（延べ 53 人）

(2) 漆芸講座

漆芸技術の向上と人材の育成を目的として漆芸講座を開催し、蒔絵・拭漆・伊勢春慶・彩漆・乾漆等の技法に取り組んだ。（昭和 61 年 5 月から開催）10 月より、伊勢春慶塗教室の修了生を対象とした「基礎習得コース」、既に漆芸の基礎を習得した方を対象とした「技術向上コース」などに分けて、よりきめ細かく指導できる体制を整えた。

ア 開催日 各コース 週 1 回

イ 回数 90 回

ウ 場所 伊勢市産業支援センター 漆芸室

エ 講師 元・神宮司廳造営局神宝装束部長 神原 佑司 氏
元・工芸指導所長 西井 幸平 氏

オ 受講者数 20 人（延べ 588 人）

(3) 木工講座

市内の木工産業の振興を目的に、優れた木工技術を持つ技術者の育成を図るために行い、木工の技術・技法の習得、木工道具の仕込みの習得のための指導を行った。講座開催日以外にも自主活動日を設定し、受講生の技術の向上を図った。

ア 開催日 月 2 回（第 2・4 土曜日）

イ 講座回数 21 回

ウ 開催場所 伊勢市産業支援センター 作業実習室

エ 講師 家具職人 井坂 益水 氏

オ 受講者数 9 人（延べ 172 人）

カ 自主活動 24 回、8 人（延べ 88 人）

8 ものづくりセミナーの開催

(1) ものづくりセミナー

ア 開催日 平成 23 年 7 月 8 日（金）

イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室

ウ タイトル 食品製造業における食品安全のための人・施設・設備の衛生管理
エ 講 師 食品安全技術研究所 所長 小川 洋 氏
オ 受講者数 24 人

(2) ものづくりセミナー

ア 開催日 平成 23 年 9 月 7 日 (水)
イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
ウ タイトル 電気関係製造業における製造実務者のための一般的基礎知識
エ 講 師 元神鋼電機技術部長 長町 栄 氏
オ 受講者数 34 人

(3) ものづくりセミナー

ア 開催日 平成 23 年 11 月 10 日 (木)
イ 開催場所 生涯学習センター いせトピア 会議室
ウ タイトル バリ取り・エッジ仕上げ技術セミナー
エ 講 師 関西大学 名誉教授 北嶋 弘一 氏
オ 受講者数 18 人

(4) ものづくりセミナー

ア 開催日 平成 24 年 2 月 10 日 (金)
イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
ウ タイトル 電気・電子機器関連企業の設計・検査技術者のための一般的基礎知識
エ 講 師 元神鋼電機技術部長 長町 栄 氏
オ 受講者数 28 人

(5) ものづくりセミナー

ア 開催日 平成 24 年 3 月 8 日 (木)
イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
ウ タイトル 工場の省エネ・節電&コスト削減
エ 講 師 パナソニックエコソリューションズ創研(株) 箕浦 秀樹 氏
オ 受講者数 24 人

(6) ものづくりセミナー

ア 開催日 平成 24 年 3 月 15 日 (木)
イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
ウ タイトル 木材塗装セミナー
エ 講 師 玄々化学工業株式会社 営業部販売課 渡辺 幸治 氏
オ 受講者数 20 人

(7) ホームページ制作基礎セミナー

ア 開催日 平成 23 年 10 月 20 日 (木) ～11 月 24 日 (木) 毎週金曜日 全 4 回
イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
ウ テーマ ホームページ制作基礎セミナー～自社のホームページを作ってみませんか～
エ 講 師 (有)オフィスパティ 大山 佳子 氏
オ 受講者数 10 人 (延べ 43 人)

(8) しんきんビジネスフェアに向けた展示会活用セミナー

- ア 開催日 平成 23 年 8 月 30 日 (火)
イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
ウ 講 師 (株)ユーキューブ 代表取締役 相場 健 氏
エ 受講者数 16 名

(9) 共同受注セミナー

- ア 開催日 平成 24 年 1 月 20 日 (金)
イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
ウ 講 師 株式会社松本精機 代表取締役 鈴木 敏文 氏
エ 受講者数 4 人

(10) 技術の見える化セミナー ～W e b 奇襲戦略～

- ア 開催日 平成 24 年 2 月 23 日 (木)
イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
ウ 講 師 三和メッキ工業株式会社 清水 栄次 氏
エ 受講者数 15 人

9 企業セミナーの開催協力・支援

(1) 製造管理者育成講座

- ア 開催日 平成 23 年 7 月 22 日 (金) ～11 月 14 日 (月) 全 7 日間
イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
シンフォニアテクノロジー(株)伊勢製作所
ウ テーマ 現場管理の基本・環境管理、品質管理、製造シミュレーション、
職場の問題解決、生産管理・生産方式、PM・5S・安全管理
エ 講 師 シンフォニアテクノロジー(株) 能力開発センター 村山 昌彦 氏
(財)三重県産業支援センター 小澤 二二雄 氏
オ 受講者数 27 人
カ 主催者 (財)三重県産業支援センター

10 材料試験及び化学分析機器、木工機械等の使用貸出

材料試験使用機器・機械	件数
アムスラー材料試験	4 件
化学分析機器の使用	43 件
木工機械の使用	22 件
その他機器の使用	9 件

○ 起業支援推進事業

1 創業支援員の配置

新しい事業の実現のため、起業家とともに課題を分析し、解決のための手法の提案や、経営・財務など専門家との連携など、起業家の事業家活動を総合的にサポートする創業支援員を配置するため、民間企業に業務を委託した。

ア 委託事業名 創業支援員の業務委託

イ 委託期間 平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで

ウ 実施場所 伊勢市産業支援センター

エ 契約金額 4,784,400 円

オ 委託先 (株)アーリー・バード

2 起業家支援室の使用実績

事業者名または個人名	使用期間	事業内容
メダボン	平成 23 年 4 月から	めだかの養殖・盆栽の制作、WEB 販売
貫じん堂	平成 21 年 4 月から 平成 24 年 3 月まで	地元産業の企画・広報・営業支援事業
合同会社 X-TREME COMPOSITE JAPAN	平成 21 年 4 月から 平成 24 年 3 月まで	模型飛行機の輸入販売やイベント企画、産業用飛行機の組立・販売
社労士 office ウェルキャリア	平成 23 年 9 月から	人材採用サポート・人材紹介・人事労務管理業務の代行

3 起業準備支援室の使用実績

使用者名	使用期間	事業内容
あいか	平成 22 年 11 月から 平成 23 年 10 月まで	地域ブランドの企画提案・コンサルティング
社労士 office ウェルキャリア	平成 23 年 2 月から 平成 23 年 8 月まで	人材採用サポート・人材紹介・人事労務管理業務の代行
中村 浩秀	平成 23 年 4 月から 平成 24 年 3 月まで	社会貢献事業の企画・運営 地域包括ケアシステム事業
エコプロ(株)	平成 23 年 10 月から 平成 24 年 3 月まで	環境関連事業 社会福祉関連事業
(株)デルテックサービス	平成 23 年 12 月から 平成 24 年 3 月まで	環境保全薬品の開発販売 産業廃棄物処分のコンサルティング
中村 真紀	平成 23 年 12 月から	伊勢志摩の地域資源を使った商品開発

4 セミナー、イベント等の開催

(1) 伝統薬をもっと身近に ～地域資源を活用した需要創出の取り組み～

ア 開催日 平成 23 年 6 月 11 日 (土)

イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室

ウ 講師 伊勢くすり本舗(株) 加藤 貴久 氏

エ 受講者数 5 人

(2) 創業・第二創業融資支援セミナー

- ア 開催日 平成 23 年 10 月 24 日（月）
イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
ウ 講 師 日本政策金融公庫 こくきん創業支援センター名古屋 所長 宮原 大和 氏
エ 受講者数 10 人

(3) 事務所・店舗等物件選びセミナー ～間違っていないですか？その物件選び～

- ア 開催日 平成 23 年 11 月 30 日（水）
イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
ウ 講 師 武田経営研究所 所長 武田 秀一 氏
エ 受講者数 16 人

(4) 起業喚起セミナー ～受け身な私の社長術～

- ア 開催日 平成 24 年 1 月 28 日（土）
イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
ウ 講 師 (株)サンエル 代表取締役 辻橋 英延 氏
エ 受講者数 25 人

5 セミナー、イベント等の開催協力

(1) 宇治山田商業高校「ネットショップ」授業の講師協力

- ア 開催日 平成 23 年 5 月 24 日（火）
イ 開催場所 三重県立宇治山田商業高等学校
ウ 内 容 商品販売において着目すべきポイント、販売方法など
エ 講 師 創業支援員 三田 泰久 氏
オ 受講者数 26 人

(2) 皇學館大学ビジネスプランコンテストへの協力

- ア 開催日 平成 24 年 1 月 21 日（土）
イ 開催場所 皇學館大学 伊勢学舎
ウ 内 容 大学生や高校生などを対象に、地域活性化に寄与する事業計画を競う
公開プレゼンテーション大会
エ 主催者 皇學館大学
オ 審査員 創業支援員 三田 泰久 氏

6 近隣地域のインキュベーション施設担当者との会議等への参加

起業支援業務に関して、近隣地域との情報交換、及び基調講演受講による職員の資質向上のため、会議・研修会に出席した。

年月日	会議・研修会名称	開催場所	主催者及び内容
23. 8. 26	中部 I M ネットワーク合同連絡会	愛知県	中部経済産業局 起業支援ツールの検討
23. 10. 11	第 1 回ビジネスインキュベーション研究会	津市	(財)三重県産業支援センター B I の機能と起業支援についての考え方と取組について
24. 3. 9	第 2 回ビジネスインキュベーション研究会	四日市市	(財)三重県産業支援センター 起業支援方法の意見交換、検討

農 林 水 産 課

○ 農業振興関係

1 伊勢地域農業共済事務組合事業

農業災害補償法の規定に基づく農業共済事業を効率的・安定的に運営するため、伊勢地域農業共済事務組合の運営経費の一部を構成 7 市町で負担した。

伊勢市負担分 39,038,000 円

構成 7 市町 伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町

2 農業経営基盤強化促進事業

(1) 「伊勢市農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想」に基づき、優れた農業経営体を目指して、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者が作成した農業経営改善計画を認定し、この改善計画の推進を支援した。

認定農業者件数 107 件 (平成 24 年 3 月末現在)

23 年度新規認定 2 件

事業費 322,200 円 (市単独事業)

(2) 効率的かつ安定的な農業経営が農業生産の相当部分を担う農業構造を確立するため、関係機関・団体が農地の流動化に関する情報を共有し、連携して認定農業者等への農地の利用集積を進めた。

○農業経営基盤強化促進法に基づく利用権等設定面積

区 分	面 積 (ha)		
	田	畑	計
利用権設定 (累積)	406.9	11.6	418.5
H23.4～H24.3 実績			
設 定	91.8	3.0	94.8
中途解約・期限切れ等	67.3	3.5	70.8
所有権移転	0.5	0.1	0.6

3 利子補給補助事業

効率的かつ安定的な農業経営を目指す認定農業者を支援するため、経営改善のための農業近代化資金等の借入に際し、発生する利子の一部を助成した。

資金名		借入件数	借入残高	利子補給額	備考
農業近代化資金	上半期	79 件	195,270,000 円	302,400 円	市単独事業
	下半期	81	209,738,000	268,612	
農業経営基盤強化資金 (スーパー L 資金)		8	132,269,807	330,543	うち県補助金 158,253 円

4 生産調整推進対策事業

米穀の需給と価格の安定を図るため、伊勢市農業再生協議会を主体とした地域農業者・農業団体が主体的に取り組む米の需給調整を推進・支援した。

生産調整推進対策の実績

	21 年産	22 年産	23 年産
水稻作付面積目標	1,639 ha	1,550 ha	1,666 ha
作付段階における 主食用作付面積	1,809	1,774	1,741

5 農業振興地域整備促進事業

農業振興地域整備計画に基づき地域内における計画的土地利用を進める中、農業諸情勢の変化に対応して、地域の土地利用の動向を踏まえ、他の土地利用との調整を図り、地域の特性及び課題に応えるべく、農用地の見直しを行った。

農用地利用計画変更面積：平成 23 年度除外決定分

利用計画変更分	件 数	面 積
農 用 地 除 外	17 件	7,903 m ²
農 用 地 編 入	1	996
用 途 変 更	2	352

事業費 472,300 円（市単独事業）

6 農業振興事業

農業が持続的に営まれることにより、農村環境が良好に保たれることから、農業者等の地域農業や農村振興に資する取り組みを支援することで後継者の育成確保や生産活動強化を図った。

（1）蓮台寺柿保存育成事業補助金

350 年の歴史をもち、市の天然記念物である蓮台寺柿の宅地開発等による減産傾向に歯止めをかけ、地域の特産物として保存育成するため、苗木育成、共同防除その他の事業を支援することで、栽培農家の振興と経営の安定を図った。

事業主体 蓮台寺柿保存育成研究会

事業費 461,000 円

補助額 45,000 円

（2）三重県伊勢志摩指導農業士会活動助成金

地域農業のリーダーである指導農業士会が行う農業後継者育成の活動及び地域農業の振興に資する活動に対し、助成金を交付し支援を行った。

交付先 伊勢志摩指導農業士会

補助額 140,000 円（20,000 円/1 名×市内在住 7 名分）

（3）三重県伊勢志摩青年農業士会活動助成金

地域農業の担い手である青年農業士会が行う農業技術向上のための研修交流及び地域農業の振興に資する活動に対し、助成金を交付し支援を行った。

交付先 伊勢志摩指導農業士会
補助額 40,000 円 (10,000 円/1 名×市内在住 4 名分)

(4) 青ねぎ集出荷施設整備事業補助金

国の指定産地として指定を受け、当市を代表する作物である青ねぎについて、生産規模の拡大やブランド化の堅持に向け、伊勢農業協同組合が行う青ねぎ集出荷施設の整備を支援した。

事業主体 伊勢農業協同組合
事業費 179,148,743 円
補助額 15,817,000 円 (平成 22 年度から一部繰越)

7 農業者戸別所得補償制度推進事業

販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象に、その差額を交付することにより、農業経営の安定と国内生産力の確保を図った。

事業費 7,559,000 円 (全額国補助金)

8 地産地消推進事業

(1) 伊勢市地産地消の店認定制度

平成 19 年 12 月に創設した「伊勢市地産地消の店認定制度」に基づき、市内産農林水産物を食材として取り扱う飲食店等を、伊勢市地産地消の店として認定し、当該店の地産地消に係る取組を消費者に周知することにより、市内産農林水産物の消費及び需要の拡大を図った。

平成 23 年 6 月 19 日認定店 6 店舗 (内訳：飲食店 4、直売所 1、量販店 1)

※累積：44 店舗 (内訳：飲食店 27、宿泊施設 2、小売店 5、直売所 5、量販店 5)

事業費 58,104 円 (市単独事業)

(2) 学校給食用米確保業務委託

100%市内産米の米飯給食の実施をめざし、学校給食用米 (みえのえみ) の市内での生産拡大を進めるため、生産者の取りまとめ及び指導、生産者への栽培に係る追加負担分の経費の支出等を伊勢農業協同組合に委託し、事業を推進した。

委託先 伊勢農業協同組合
委託期間 平成 23 年 5 月 30 日～平成 24 年 3 月 31 日
委託内容 学校給食用米 (みえのえみ) の必要数量確保に係る生産者のとりまとめ、栽培指導、生産者への補填金支出等
確保数量 4,451 袋 (133.5 t : 30kg/袋)
委託料 1,224,025 円 (市単独事業)

9 特色ある農産物づくり支援事業

有機・減農薬栽培の促進、先進的又は地域の特色ある農産物づくりに取り組む農業者に対して支援を行い、地域農業の活性化を図った。

事業主体 有限会社 お伊勢さん

事業内容 伊勢志摩地域の伝統食品である「きんこ芋」の生産量が年々減少しているため、原料である「はやと芋」や「紅はやと」の生産に必要な資材等を導入し、生産拡大を図った。

事業費 559,367 円

補助額 250,000 円（市単独事業）

10 農業体験学習事業

食育推進の一環として、農業体験を含む食育の機会を設け、食の大切さ、食をはぐくむ産業である農業の大切さなどについて考えてもらう機会を提供した。

事業費 317,615 円（市単独事業）

実施日	対 象	内 容	備考
23. 5. 10	東大淀小 5 年生（20 人）	水稻（田植え：東大淀町地内）	4 回
23. 5. 13	宮山小 5 年生（43 人）	水稻（田植え：小俣町地内）	
〃	御菌小 5 年生（105 人）	水稻（田植え：小俣町地内）	
23. 9. 9	宮山小 5 年生（44 人）	水稻（稲刈り：小俣町地内）	
〃	御菌小 5 年生（105 人）	水稻（稲刈り：小俣町地内）	
23. 9. 12	東大淀小 5 年生（20 人）	水稻（稲刈り：東大淀町地内）	
23. 9. 15	大湊小 5 年生（28 人）	水稻（稲刈り：村松町地内）	
23. 10～12	小学 5・6 年生親子（12 人）	野菜（収穫・調理等：村松町ほか）	
23. 11. 6	小学 5・6 年生親子（16 人）	蓮台寺柿（収穫・調理等：勢田町ほか）	

○ 施設管理関係

1 農業用施設維持補修

農道及び農業用排水路の機能を保持するため、修繕・浚渫工事や草刈等の業務委託、重機借上・原材料支給を行い、農村環境・農業基盤の整備を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
二見町 庄内 地	農業用排水路修繕工事	排水路修繕一式	円 29,400	23. 4. 14	23. 4. 20
有 滝 町 地 内	農業用排水路修繕 （その 2）工事	排水路修繕一式	97,125	23. 5. 12	23. 5. 19
通 町 地 内	農業用排水路浚渫 （その 1）工事	排水路浚渫一式	99,750	23. 5. 16	23. 5. 31
上 野 町 地 内	農業用排水路修繕 （その 3）工事	排水路修繕一式	99,750	23. 5. 20	23. 6. 1
二見町 三津 地 内	農業用ポンプ施設修繕 （その 1）工事	ポンプ操作盤修繕一式	46,830	23. 6. 8	23. 6. 8
〃	農業用ポンプ施設修繕 （その 2）工事	ポンプ操作盤修繕一式	52,500	23. 7. 22	23. 7. 22

二見町茶屋地	農業用排水路修繕 (その4) 工事	排水路修繕 一式	円 99,750	23. 8. 17	23. 8. 31
横輪町地	農道修繕 (その2) 工事	農道修繕 一式	99,750	23. 9. 28	23. 10. 31
御菌町高向地	農道修繕 (その1) 工事	農道修繕 一式	99,750	23. 10. 3	23. 10. 17
円座町地	農業用排水路修繕 (その5) 工事	排水路修繕 一式	249,900	23. 10. 5	23. 11. 2
上野町地	農業用排水路浚渫 (その3) 工事	排水路浚渫 一式	49,350	23. 12. 15	23. 12. 28
東豊浜町地	農業用排水路修繕 (その6) 工事	排水路修繕 一式	99,750	24. 1. 23	24. 1. 27
黒瀬町地	農業用排水路浚渫 (その2) 工事	排水路浚渫 一式	311,850	24. 1. 23	24. 2. 20
二見町西地	農業用排水路浚渫 (その4) 工事	排水路浚渫 一式	99,750	24. 2. 1	24. 2. 29
村松町地	農業用排水路修繕 (その7) 工事	排水路修繕 一式	99,750	24. 3. 1	24. 3. 23
檜原町地	農業用排水路修繕 (その8) 工事	排水路修繕 一式	99,750	24. 3. 1	24. 3. 23
計	16 件	—	1,734,705	—	—

イ 委託関係

施行場所	業 務 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
神社港内 地	(注) 馬瀬ポンプ場堆積物回 収運搬業務委託	排水機巡視 80回 堆積物回収 20回	円 496,650	23. 4. 1	24. 3. 31
栗野町内 地	菱川除草業務委託	草刈り 一式	64,821	23. 8. 1	23. 8. 12
計	2 件	—	561,471	—	—

(注)維持課へ執行委任

ウ 重機借上・原材料支給

	施 行 場 所	金 額
重 機 借 上	東豊浜町地内 ほか7件	円 1,678,005
原 材 料 支 給	朝熊町地内 ほか9件	693,027
計	—	2,371,032

2 農地・水保全管理支払交付金事業

(1) 共同活動支援

農業の持続的発展、農地・農業用水路等の農業用資源の持つ多面的機能の適正な発揮のため、市内 22 の農家・非農家で構成された組織で、これらの資源を地域ぐるみの共同活動で保全向上させる取り組みが行われ、それに対する支援、推進を行った。

実施地区 22 組織(一色、西豊浜森、有滝、村松、東大淀、柏、上地、栗野、鹿海、上野、円座、伊勢北部(植山、有滝、西豊浜、東豊浜、村松)、津村、楠部、佐八、中須、馬瀬、通、小俣、磯、二見町三津、二見町西)

実施面積 1,467.53 ha

支援金総額 62,386,840 円(伊勢市負担分 15,596,710 円)

負担割合 国 50% 県 25% 市 25%

(2) 向上活動支援

農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図るため、老朽化が進む農地周りの農業用排水路、農道などの施設の長寿命化のための補修・更新等の活動に対して支援を行った。支援対象については、22 組織のうち老朽化が最も進む 7 組織である。

実施地区 7 組織(一色、柏、栗野、津村、楠部、磯、二見町西)

実施面積 286.73 ha

支援金総額 11,777,560 円(伊勢市負担分 2,944,390 円)

負担割合 国 50% 県 25% 市 25%

3 二見しょうぶロマンの森維持管理

(1) 施設管理

伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設(「民話の駅蘇民」、「しょうぶ園」)について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、農村地域資源を活用し、地域の活性化を図った。

- ・施設名 伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設
- ・指定管理者 二見しょうぶロマンの森維持管理組合
- ・指定管理委託期間 平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
- ・指定管理委託料 4,812,000 円
- ・施設利用状況等

期 間	開館日数	来客人数
平成 23 年 4 月	30 日	11,770 人
平成 23 年 5 月	31	12,748
平成 23 年 6 月	30	14,828
平成 23 年 7 月	31	10,673
平成 23 年 8 月	29	11,108

平成 23 年 9 月	28 日	8,971 人
平成 23 年 10 月	31	10,668
平成 23 年 11 月	30	10,136
平成 23 年 12 月	31	12,303
平成 24 年 1 月	28	9,466
平成 24 年 2 月	29	10,273
平成 24 年 3 月	31	11,142
計	359	134,086

4 伊勢市都市農山村交流促進施設管理

(1) 施設管理

横輪地区活性化事業で整備した伊勢市都市農山村交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民と都市住民が集い触れ合う交流の場として地域の活性化を図った。

- ・施設名 伊勢市都市農山村交流促進施設 郷の恵「風輪」
- ・指定管理者 横輪町活性化委員会
- ・指定管理委託期間 平成 21 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日
- ・指定管理委託料 2,092,000 円
- ・施設利用状況等

期 間	開館日数	来客人数
平成 23 年 4 月	26 日	4,810 人
平成 23 年 5 月	23	947
平成 23 年 6 月	21	1,595
平成 23 年 7 月	22	845
平成 23 年 8 月	22	947
平成 23 年 9 月	19	736
平成 23 年 10 月	21	823
平成 23 年 11 月	23	1,293
平成 23 年 12 月	22	986
平成 24 年 1 月	22	704
平成 24 年 2 月	21	831
平成 24 年 3 月	22	1,075
計	264	15,592

5 サンファームおばた維持管理

経営構造対策事業によって整備した産直施設であるサンファームおばたの管理運営を行い、農家の市場出荷以外の販路を確保し、農業者の経営安定、担い手の育成等を図った。

(1)市有建物の貸付

所在地	構 造	建物面積	貸付先	貸付料 (年額)	用途	期 間
小俣町湯田 55 番地	鉄骨造折板葺 平屋建	m ² 429.12	有限会社 サンファーム おばた	円 612,000	農産物販売 (産直市)	自 23. 4. 1 至 24. 3. 31

6 伊勢市二見健康管理増進センター維持管理

(1)施設管理

漁村環境整備事業で整備した伊勢市二見健康管理増進センターについて、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民の生活及び健康管理の向上と明るく豊かな地域づくりの増進を図った。

- ・施設名 伊勢市二見健康管理増進センター
- ・指定管理者 二見町松下区 区長
- ・指定管理委託期間 平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
- ・指定管理委託料 174,000 円
- ・施設利用状況等 年間利用回数 134 回
年間利用人数 1,511 人（延べ人数）

7 平家の里関連施設管理

農業構造改善事業によって整備した平家の里関連施設については、平成 18 年度より指定管理者により管理運営を行ってきたが、利用者の減少、平成 21 年度以降指定管理者が不在であること、また地元の意向等を踏まえ施設の解体を行った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
矢 持 町 地 内	(注) 平家の里キャンプ 場解体工事	木造平屋建解体 一式 鉄骨造平屋建解体 一式 補強コンクリートブロック造平屋建 解体 一式 FRP 製貯水タンク撤去 2 箇所	円 9,960,300	23. 12. 22	24. 3. 12
〃	野外緑地広場施設 撤去工事	既設舗装版撤去 一式	1,050,000	24. 1. 30	24. 3. 15
〃	野外緑地広場施設 撤去（その 2）工事	手洗い場施設撤去 一式	472,500	24. 2. 24	24. 3. 15
計	3 件	—	11,482,800	—	—

(注) 建築住宅課施行

8 樋門の維持管理

流域への湛水、洪水による被害を未然に防止するため、地元自治会等へ管理を委託し、樋門の機能保持及び安全管理を図った。

(1) 三重県県土整備部所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委託先	管理委託料
東伊阿良	有 滝 町	有 滝 町 会 長	円 20,600
江 川	〃	〃	24,700
社護神	〃	〃	16,500
土路西条 4 号	西 豊 浜 町	上 区 自 治 会 区 長	16,500
土路西条 5 号	磯 町	磯 町 自 治 会 区 長	16,500
矢 田 川	楠 部 町	楠 部 町 自 治 会 長	20,600
津 村	津 村 町	津 村 町 区 長	16,500
宮 沼	〃	〃	20,600
名 古 新 田	二見町山田原	二 見 町 三 津 区 長	20,600
計	9 樋門	—	173,100

(2) 市所管樋門操作業務委託

樋 門 名	所在地	委託先	管理委託料
満 城	磯 町	磯 町 自 治 会 区 長	円 20,600
磯	〃	〃	16,500
相 合 端	〃	〃	16,500
堀 の 内	西 豊 浜 町	森 区 自 治 会 区 長	16,500
中 島	〃	小 川 区 農 事 部 長	16,500
郷 垣 外	東 豊 浜 町	〃	14,450
中 坪 井	西 豊 浜 町	〃	16,500
下 坪 井	東 豊 浜 町	東豊浜町西条自治会長	16,500
浜	〃	〃	16,500
西 浦	〃	〃	16,500
西条第一	〃	〃	16,500

浦ノ山	東豊浜町	土路区町会長	円 16,500
墓ノ浦	〃	〃	20,600
里浦	〃	〃	16,500
一本松	檜原町	檜原町会自治会長	16,500
枯木州	〃	〃	16,500
地藏池	村松町	有滝町会長	14,450
南挟間	〃	〃	14,450
西の小端 第一	〃	〃	14,450
イナ川	有滝町	〃	16,500
西曾	〃	豊浜土地改良区理事長	17,600
亀池	村松町	村松町会長	24,700
旧汐田	東大淀町	東大淀町会長	17,600
明野	〃	〃	15,000
東勘坊	柏町	柏町会長	17,600
大切戸	一色町	一色町自治会区長	20,600
戸部神	〃	〃	16,500
中渠	楠部町	楠部町自治会長	17,600
小畑	中村町	中村土地改良区理事長	15,000
八郎兵衛	鹿海町	鹿海町自治会長	20,600
西新田	〃	〃	16,500
西沖	朝熊町	朝熊町自治会長	16,500
保田	〃	〃	16,500
立岩	〃	〃	14,600
貝楠部	〃	〃	16,500
亀ヶ森	〃	〃	14,600

橋 第 二	朝 熊 町	朝 熊 町 自 治 会 長	円 14,600
橋	〃	〃	16,500
浜 田	〃	〃	16,500
子良江古	〃	〃	16,500
雨 渕 川	上 野 町	上 野 町 区 長	16,500
西	二 見 町 西	二 見 町 西 区 長	14,450
計	42 樋門	—	703,050

(3) 樋門小修繕

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
二 見 町 江 地 内	姫子松樋門修繕工事	フラップゲート修繕 一式	円 98,700	23. 8. 1	23. 8. 4
磯 地 町 内	満城樋門流木撤去工 事	流木処理 一式	52,500	23.10. 3	23.10. 5
計	2 件	—	151,200	—	—

9 陸こう門の管理

異常気象等による洪水防止のため、漁港区域及び海岸保全区域内に設置した陸こうの維持管理及び操作を次のとおり委託した。

(1) 市所管陸こう門操作業務委託

陸こう名	所 在 地	委 託 先	委 託 料
東大淀第 1・2 陸こう門	東 大 淀 町	東 大 淀 町 会 長	円 11,000
村松第 1～8 陸こう門	村 松 町	村 松 町 会 長	44,000
有滝第 1～6 陸こう門	有 滝 町	有 滝 町 会 長	33,000
土路第 1～5 陸こう門	東 豊 浜 町	土 路 区 町 会 長	27,500
西条第 1～6 陸こう門	〃	東豊浜町西条自治会長	33,000
計	5 件	—	148,500

10 排水機場維持管理

農業用としてだけでなく、集落地域の雨水排水にも稼働している公共性の高い排水機場について維持管理または電気代等の維持管理費を補助することにより、土地改良区等の負担軽減を図り、農業基盤の保全と農村地域の環境整備を図った。

(1) 市所管排水機場操作業務委託

排水機場名	所在地	委託先	委託料
野口排水機場	東大淀町	東大淀土地改良区	円 50,000

(2) 補助金

排水機場名	交付先	市補助額
村松排水機場	村松土地改良区	円 770,407
野口排水機場ほか	東大淀土地改良区	91,456
有滝第2排水機場	伊勢北部土地改良区	674,773
社護神排水機場	有滝土地改良区	319,713
豊浜第2排水機場	豊浜土地改良区	22,282
計	5件	1,878,631

○ 畜産関係

1 畜産飼養頭羽数

種類	肉用牛			乳牛			肉豚			採卵鶏		
年度	21	22	23	21	22	23	21	22	23	21	22	23
頭羽数 (頭羽)	520	522	526	10	7	7	600	592	592	26,700	26,400	25,400
戸数 (戸)	8	6	6	1	1	1	1	1	1	5	5	5

2 松阪食肉公社運営事業

食肉の安全を確保するため、三重県松阪食肉公社施設の維持管理対策に要する経費を、伊勢市を含む主要株主により支援を行った。

事業主体 株式会社 三重県松阪食肉公社
補助金 3,386,000 円

○ 農業基盤整備関係

1 市単土地改良事業

(1) 農道舗装事業

道路幅員等において、国・県の補助事業として採択基準に合致しない農道整備について、舗装工事等を施行し、農道の機能を保持するとともに、交通の安全と円滑な通行の確保に努めた。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
中 須 町 地 内	農道舗装（その 3）工事	L = 76.7m	円 630,000	23. 10. 13	23. 11. 21
上 野 町 地 内 ほ か	農道舗装（その 2）工事	L = 588.5m	4,717,650	23. 11. 4	23. 12. 28
村 松 町 地 内 ほ か	農道舗装（その 4）工事	L = 621.6m	7,439,250	24. 1. 27	24. 3. 15
中 須 町 地 内	農道舗装（その 5）工事	L = 69.0m	603,750	24. 2. 1	24. 3. 15
佐 八 町 地 内	農道舗装（その 6）工事	L = 71.0m	693,000	24. 2. 3	24. 3. 15
田 尻 町 地 内	農道舗装（その 7）工事	L = 54.5m	1,003,800	24. 2. 10	24. 3. 15
一之木 5 丁目 地 内	農道整備（その 1）工事	L = 40.0m	210,000	24. 2. 20	24. 3. 15
東 豊 浜 町 地 内 ほ か	農道舗装（その 9）工事	L = 47.5m	840,000	24. 2. 20	24. 3. 26
柏 町 地 内	農道舗装（その 8）工事	L = 176.0m	1,260,000	24. 2. 22	24. 3. 23
計	9 件	—	17,397,450	—	—

(2) 農業用排水路整備事業

国・県の補助事業として採択基準に合致しない、老朽化による水路の損傷及び生活排水の流入により排水能力が低くなった排水路の整備を行うことにより、排水機能回復と環境整備を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
二 見 町 今 一 色 地 内	農業用排水路（その 1）工事	L = 56.7m	円 1,445,850	23. 10. 7	23. 12. 5
上 地 町 地 内	農業用排水路（その 2）工事	L = 103.0m	1,888,950	23. 11. 4	23. 12. 22
二見町三津 地 内	農業用排水路（その 5）工事	L = 40.0m	1,092,000	24. 1. 13	24. 3. 15
村 松 町 地 内	農業用排水路（その 3）工事	L = 135.0m	703,500	24. 1. 20	24. 2. 15
上 地 町 地 内	農業用排水路（その 4）工事	L = 326.0m	3,150,000	24. 1. 27	24. 3. 15
御 藺 町 王 中 島 地 内	農業用排水路（その 6）工事	L = 124.0m	1,712,550	24. 2. 3	24. 3. 15

中 須 町 地 内	農業用排水路浚渫（その 5） 工事	L = 145.0m	円 1,260,000	24. 2. 17	24. 3. 15
宇 治 今 在 家 町 地 内	農業用施設撤去工事	構造物取壊工 1 式	749,700	24. 2. 24	24. 3. 15
中 須 町 地 内	農業用排水路（その 7）工事	排水路工 1 式	99,750	24. 3. 2	24. 3. 26
計	9 件	—	12,102,300	—	—

（3）給水栓整備事業

当該地区の農業用用水施設は水資源が十分に確保できず営農活動に支障をきたしている。このため給水栓整備を行い、農家の水資源有効活用と労働生産性の向上を行い農業経営の安定を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
西 豊 浜 町 地 内	給水栓設置工事	給水栓設置 55 箇所	円 3,395,700	24. 1. 27	24. 3. 23

2 土地改良事業補助

農業経営の安定に資するため、土地改良事業を補助し、事業の円滑な推進及び農業農村の基盤整備を図った。

（1）県営事業負担金

事 業 名	工事概要	事 業 費	市 負 担
平成 22 年度 県営ため池等整備事業 戸部神地区	吐水槽工 一式	円 73,000,000	(注 1) 円 8,600,000
平成 22 年度 県営かんがい排水事業 宮川 2 工区	幹線用水路 L = 600m	140,000,000	(注 1) 1,755,000
平成 22 年度 県営かんがい排水事業 宮川 4 工区	幹線用水路 L = 680m	540,000,000	(注 1) 51,000,000
平成 22 年度 県営かんがい排水事業 宮川 4 工区その 2	幹線用水路 L = 600m	428,000,000	(注 1) 52,467,450
平成 22 年度 経営体育成基盤整備事業 有田地区	支線用水路 L = 1,590m	312,600,000	(注 1) 1,404,400
平成 22 年度 経営体育成基盤整備事業 小俣地区	幹線用水路 L = 600m 支線用水路 L = 1,000m	194,400,000	(注 1) 14,425,000
平成 22 年度 県営ふるさと農道整備事業 松下地区	橋台工 1 基	150,000,000	(注 1) 23,450,000
平成 23 年度 県営ため池等整備事業 戸部神地区	仮設工、本体工等 一式	215,000,000	(注 2) 12,900,000

平成 23 年度 県営かんがい排水事業 宮川 2 工区	用水路工 一式	円 140,000,000	(注 2) 円 2,413,125
平成 23 年度 県営かんがい排水事業 宮川 4 工区	幹線用水路 L=430m	200,000,000	(注 2) 5,250,000
平成 23 年度 県営かんがい排水事業 宮川 4 工区その 2	用水路工 一式	90,000,000	(注 2) 7,495,350
平成 23 年度 経営体育成基盤整備事業 有田地区	幹線用水路 L=310m 支線用水路 一式	180,300,000	(注 2) 989,588
平成 23 年度 経営体育成基盤整備事業 小俣地区	幹線用水路 L=2,300m 支線用水路 L=2,680m 農道 L=1,090m	500,000,000	(注 2) 33,799,974
平成 23 年度 県営ふるさと農道整備事業 松下地区	橋梁工 一式	220,000,000	(注 2) 75,250,000
計	14 件	3,383,300,000	291,199,887

(注 1) 平成 22 年度から一部繰越

(注 2) 平成 24 年度へ一部繰越

(2) 補助金

補助金支出先	施行 年度	事 業 名	事 業 概 要	市補助額
宮 川 用 水 土 地 改 良 区	昭和 62～ 平成 3	県営施設整備事業市町村負担金	用水路工事	円 (注) 1,993,000
〃	平成 23	土地改良施設維持管理適正化事業(34・35 期生)	揚水機場整備補修工事	2,800,000
〃	23	団体営施設整備事業(小川地区)揚水機整備工事	揚水機整備工事	54,000
〃	23	県営事業城田・下城田地区計画策定業務補助金	計画策定業務	601,000
〃	23	地域農業水利施設ストックマネジメント事業	用水路工事	1,750,000
〃	23	県営基幹水利施設緊急調査・補修事業宮川地区揚水機等補修工事	揚水機等補修工事	735,000
伊 勢 北 部 土 地 改 良 区	6～ 15	県営ほ場整備事業(伊勢北部地区)	区画整理工事	(注) 12,820,782

伊勢北部 土地改良区	5	県営ほ場整備事業（伊勢北部地区）	区画整理工事	(注) 円 685,141
豊浜 土地改良区	5～ 11	団体営土地改良総合整備事業（豊浜・森・小川地区）	用水施設整備他	(注) 24,637,159
〃	13～ 15	基盤整備促進事業（大方後地区）	用水路工事他	(注) 886,730
朝熊 土地改良区	4	団体営土地改良総合整備事業（小規模排水）名古屋砂地区	用排水施設整備他	(注) 2,828,970
五十鈴川用水 土地改良区	23	県営かんがい排水事業（鹿海、一色地区）	木出頭首工維持管理事業	369,390
宮川左岸第二 土地改良区	23	県営事業城田・下城田地区計画策定業務補助金	計画策定業務	3,145,000
〃	23	土地改良施設維持管理適正化事業	用水管修繕工事	80,000
〃	23	漏水補修事業	用水管修繕工事	137,000
村松 土地改良区	23	県単土地基盤整備事業（小規模土地改良事業）	排水路工事	1,105,000
小俣町 土地改良区	23	小俣地区経営体育成基盤整備事業用水路その2工事に伴う給水管工事	給水管工事	66,000
〃	23	農業用排水施設整備工事	給水管工事	297,000
小川区農事部	23	団体営施設整備事業（小川地区）揚水機整備工事	揚水機整備工事	19,000
計	19件	—	—	55,010,172

(注) 市補助額欄の(注)印は、償還金に対する補助金額

3 農村振興整備事業

近年の農業のおかれている状況は、農家数及び農地の減少、農産物の輸入自由化による価格の低迷と生産意欲の減退、労働力の高齢化と後継者の不在等と大変厳しいものである。こうした状況に応じて、農業生産基盤整備、農村環境基盤整備を進めることで、優良農地の適正な管理、営農環境の保全及び生活環境の改善に努め、地域の活性化を図った。

(1) 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業

農業従事者の高齢化、後継者不足が進む中、基盤整備を実施することで離農者及び離農村者を抑制し、地域住民の定住化を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
東 豊 浜 町 地 内	(注) 農排 3-15 号工事	L = 132.7m	円 26,800,200	22.11. 5	23. 6.30
西 豊 浜 町 地 内	集道 3-1 号土木工事	L = 300.0m	20,346,900	23.10. 7	24. 2.29
〃	集道 3-1 号舗装工事	L = 300.0m	8,100,750	23.12. 2	24. 3.15
通 地 町 内	集道 3-4 号工事	L = 225.6m	47,339,250	23.12. 2	24. 3.29
一 色 町 地 内	集道 3-5 号工事	L = 171.6m	15,426,600	23.12. 9	24. 3.29
檜 原 町 地 内	集道 3-3 号工事	L = 62.5m	18,567,150	23.12. 9	24. 3.15
御 薮 町 上 條 地 内	農排 3-7 号工事	L = 434.8m	22,177,050	23.12. 9	24. 3.15
計	7 件	—	158,757,900	—	—

(注)平成 22 年度より一部繰越

イ 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
一 色 町 地 内	集道 3-5 号工事に伴う不 動産鑑定評価業務	不 動 産 鑑 定 評価 1 式	円 117,600	23. 6. 2	23. 6.30
通 地 町 内	集道 3-4 号工事に伴う測 量設計業務委託	L = 150.0m	1,468,950	23. 7. 1	23. 9.30
檜 原 町 地 内	集道 3-3 号工事に伴う設 計業務委託	設計業務 1 式	304,500	23. 8.31	23. 9.29
通 地 町 内	集道 3-4 号工事に伴う不 動産鑑定評価業務	不 動 産 鑑 定 評価 1 式	132,300	23.10.20	23.11.18
馬 瀬 町 地 内	農排 3-1 号工事に伴う測 量設計業務委託	L = 470.0m	2,601,900	23.10.21	24. 2.29
小 俣 町 湯 田 地 内	農排 3-11 号工事に伴う測 量業務委託	L = 870.0m	1,753,500	23.10.28	24. 2. 3
〃	農排 3-11 号工事に伴う設 計業務委託	設計業務 1 式	1,207,500	23.11. 8	24. 2.29
檜 原 町 地 内	集道 3-3 号工事に伴う地 質調査業務委託	地質調査業務 1 式	99,750	23.12. 9	24. 1.31

通地	町内	集道 3-4 号工事に伴う用地調査(建物調査)業務委託	付 帯 工 作 物 調 査 1 式	円 78,750	23.12.16	24. 1.31
計		9 件	—	7,764,750	—	—

ウ 用地買収関係

場所	地権者数	筆 数	面積	金額
通地 町内	人 3	筆 3	m ² 49.32	円 295,920
一色町 地内	48	64	1,694.51	8,913,035
計	51	67	1,743.83	9,208,955

4 技術援助事業

土地改良区が実施する修繕工事等について、設計・監督等の技術援助を行い、土地改良区の負担軽減を図った。

事業主体	工事名
小俣町土地改良区	農業用用水施設整備工事
村松土地改良区	農業用排水路整備工事
計	2 件

5 桧尻排水機場樋管解体

国土交通省による勢田川護岸工事実施に伴い、占用物件である桧尻排水機場樋管を撤去する必要があることから、それにかかる経費を負担した。

事業名	工事概要	事業費	市負担
勢田川船江護岸工事	吐水管撤去工 1 基	円 24,836,750	(注) 円 24,836,750

(注)平成 22 年度から一部繰越

6 湛水防除事業

東豊浜町土路地内に設置されている旧ポンプ場は建屋だけが残っており、建屋の老朽化が著しく、危険であることから、解体工事を行った。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
東豊浜町土路地	東豊浜町土路旧ポンプ場解体工事	解体工事一式	円 583,800	23.10.24	23.12.22

○ 林業関係

1 林道修繕事業

雨水等により道路法面が崩れ、通行に支障をきたしているため、必要な工事を施し、林道の機能回復を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
横 輪 町 地 内	飛滝林道修繕工事	L = 15.0m	円 210,000	23. 5. 20	23. 6. 10
矢 持 町 地 内	冷水林道修繕工事	林道法面修繕 N = 1 箇所	84,000	23. 6. 6	23. 6. 9
横 輪 町 地 内	林道支障木撤去工事	林道倒木撤去 N = 1 箇所	52,500	23. 10. 20	23. 10. 31
朝 熊 町 地 内	黒岩林道法面修繕工事	林道法面修繕 N = 1 箇所	149,100	24. 3. 9	24. 3. 30
計	4 件	—	495,600	—	—

2 環境保全林管理事業

(1) 市民の憩いの場である三郷山、音無山生活環境保全林及び横輪環境保全林において、清掃、草刈、修繕工事等を実施し、保全林の環境維持等に努めた。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
浦 口 町 地 内	三郷山便所扉修繕工事	便所扉修繕 N = 1 箇所	円 31,500	23. 5. 16	23. 5. 23
二見町茶屋 地 内	音無山車両進入防止柵 修繕工事	車両進入防止柵修繕 N = 1 箇所	32,550	23. 8. 29	23. 9. 30
朝 熊 町 地 内	絆の森遊水池修繕工事	遊水池修繕 N = 1 箇所	95,550	23. 10. 31	23. 11. 18
辻 久 留 町 地 内	三郷山急傾斜地岩石 撤去工事	岩石撤去 一式	3,137,400	23. 12. 9	24. 2. 29
二見町茶屋 地 内	音無山照明灯器具 修繕工事	照明灯修繕 N = 1 箇所	29,400	23. 12. 13	23. 12. 22
〃	音無山駐車場照明灯器具 修繕工事	照明器具修繕 N = 1 箇所	294,000	24. 3. 16	24. 3. 30
〃	音無山駐車場 看板設置工事	看板設置 N = 4 基	52,500	24. 3. 16	24. 3. 30
計	7 件	—	3,672,900	—	—

イ 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
浦 口 町 地 内	三郷山清掃業務委託	清掃 年 16 回	円 300,000	23. 4. 1	24. 3. 16
二見町茶屋 地 内 ほか	音無山管理業務委託	管理業務 一式	424,997	23. 4. 1	24. 3. 31

浦口町内 地	三郷山草刈等（その1） 業務委託	草刈りほか 24,700 m ²	円 780,000	23. 5. 19	23. 7. 11
横輪町内 地	宮山管理業務委託	管理業務 一式	300,000	23. 5. 27	24. 3. 26
横輪町内 地	横輪環境保全林管理業務委託	管理業務 10,360 m ²	900,000	23. 6. 10	24. 2. 9
二見町茶屋 地	音無山支障木伐採業務委託	支障木処理 一式	99,750	23. 7. 26	23. 8. 9
浦口町内 地	三郷山給水施設衛生管理 業務委託	給水施設 清掃・点検一式	29,872	23. 7. 26	23. 8. 26
二見町茶屋 地	音無山蜂の巣駆除業務委託	蜂の巣駆除 一式	26,250	23. 7. 29	23. 7. 29
〃	音無山蜂の巣駆除（その2） 業務委託	蜂の巣駆除 一式	26,250	23. 8. 18	23. 8. 18
〃	音無山蜂の巣駆除（その3） 業務委託	蜂の巣駆除 一式	26,250	23. 8. 29	23. 8. 29
浦口町内 地	三郷山草刈等（その2） 業務委託	草刈り 24,700 m ²	517,650	23. 10. 11	23. 12. 5
計	11 件	—	3,431,019	—	—

（2）横輪環境保全林の境界及び面積を明確にすることにより、市の財産を把握し更なる維持管理の向上を図るため、年次計画に基づき用地測量を行った。

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
横輪町内 地	横輪環境保全林用地測量 業務委託	用地測量 A=5.2ha	円 6,313,650	23. 12. 2	24. 3. 9

3 森林環境創造事業

音無山を環境林として適正に管理するため、20年間の環境林整備計画を作成し、それに基づき下刈り、受光伐等を行うものであり、平成14年度からいせしま森林組合に委託しているもので、本年度は4.13ha実施した。

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
二見町江 地内ほか	音無山施設管理業務委託	下刈り 歩道草刈り A=4.13ha	円 850,500	23. 10. 7	23. 12. 16

4 森林病虫害防除事業

海岸防風林等の松林において、松くい虫防除事業を施行し、松林のもつ公益的機能の低下防止及び景観の保全を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
二見町今一色地内	二見松林整備工事	松林整備 A=400 m ²	円 693,000	23. 4. 25	23. 5. 9
〃	二見松林整備（その2）工事	松林整備 A=400 m ²	525,000	24. 1. 10	24. 1. 20
計	2 件	—	1,218,000	—	—

イ 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
二見町西地内ほか	松くい虫防除（地上散布） 業務委託	薬剤散布 A=17.2ha	円 1,379,700	23. 6. 1	23. 7. 22
村松町地内ほか	村松松林ほか下刈業務委託	下刈り A=10,000 m ²	170,000	23. 8. 23	23.10.14
二見町西地内ほか	二見保安林下刈業務委託	下刈り A=2.8ha	1,018,500	23. 9. 21	23.11.11
二見町茶屋地内ほか	松くい虫防除 （樹幹注入その1）業務委託	薬剤樹幹注入	2,404,500	23.11.30	24. 1. 20
二見町西地内ほか	松くい虫防除（伐倒破砕） 業務委託	枯松伐倒駆除	609,000	23.12.21	24. 3. 16
二見町荘地内	松くい虫防除 （樹幹注入その2）業務委託	薬剤樹幹注入	1,279,950	24. 2. 1	24. 2. 17
〃	枯れ松伐倒処分業務委託	伐倒処分 N=4 本	277,200	24. 3. 1	24. 3. 26
計	7 件	—	7,138,850	—	—

5 獣害防止事業

（1）有害鳥獣駆除

農林作物等に被害を与える有害鳥獣を駆除するため、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、捕獲許可事務を行った。

件 数	延べ人員	総 捕 獲 数（頭・羽）
55 件	573 人	イノシシ（子）： 32 イノシシ： 195 シ カ： 123 サ ル： 8 ゴイサギ： 6 ド バ ト： 67

（2）獣害防止事業委託

（1）のうち、狩猟期間外の捕獲を伊勢地区猟友会に委託し、農林作物及び生活環境等の被害軽減に努めた。【猪（子）：3,000 円/1 頭 猪・鹿：5,000 円/1 頭 猿：10,000 円/1 頭】

平成 23 年度捕獲実績（頭）	※協議会委託分含む（総捕獲数から狩猟期間内を除く）		
イノシシ（子）： 32	イノシシ： 142	シカ： 78	サル： 8

事業費 776,000 円 （市単独事業）

(3)伊勢市鳥獣被害防止対策協議会

増加傾向にある野生鳥獣による農作物等被害防止を目的に、平成20年11月に設立された伊勢市鳥獣被害防止対策協議会において、関係機関と一体となって鳥獣害防止総合対策事業に取り組んだ。

事業内容	金額	備考
防護柵整備	9,646,770円	大倉町ほか10地区
捕獲檻導入	382,620	猪・鹿用 6台
捕獲補助用具購入	215,985	アニマルセンサー 5台
有害鳥獣駆除委託	500,735	委託先：伊勢地区猟友会
狩猟免許取得推進	26,000	初心者講習受講料 2人
追払い用威嚇資材購入	167,000	花火等
受信機購入	347,497	発信機付サル追跡用 5台
侵入経路等確認用機材購入	32,935	センサーカメラ 1台
モデル展示圃設置経費	318,437	勢田町、旭町
その他協議会運営費	8,791	会議開催経費等
計	11,646,770	

事業費 11,646,770円 (国：11,039,770円 市：560,000円 地元負担 47,000円)

6 鳥獣保護等事業

(1)鳥獣飼養許可

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、メジロ等の飼養許可事務を実施した。

交付件数 4件 (メジロ：更新 4件)

手数料収入 13,600円 (手数料 1件 3,400円)

○ 水産振興関係

1 漁業の実態

市内には海面の漁協として、伊勢市から明和町を範囲とする伊勢湾漁業協同組合があり、内水面には宮川漁業協同組合がある。

伊勢市の海面漁業形態は、主にアサリ採貝漁業、のり養殖業、小型機船底曳網漁業とし、その他には刺網漁業等が営まれている。

組合員数は下記のとおりで、生産状況は貝類（アサリ等）が422t、魚類等が177t、くろのりは3,540万枚となっている。

(1) 組合員数

(単位：人)

区分	漁 協 名		平成 23 年度			平成 22 年度		
			正組合員	准組合員	計	正組合員	准組合員	計
海 面	伊勢湾漁業協同組合 (伊勢市管内分)	東大淀	3	136	139	38	106	144
		村 松	30	95	125	43	87	130
		有 滝	28	104	132	39	104	143
		東豊浜	19	233	252	33	235	268
		大 湊	10	18	28	11	17	28
		一 色	4	51	55	4	51	55
		神 社	0	16	16	0	16	16
		今一色	60	20	80	61	20	81
		江	1	49	50	21	35	56
		松 下	13	51	64	14	50	64
		合 計	168	773	941	264	721	985
内水面	宮 川 漁 協		921	1,282	2,203	980	1,289	2,269
	内伊勢市管内		260	225	485	270	231	501

(注) 宮川漁協は各年度 12 月 31 日現在

(各年度 4 月 1 日現在)

(2) 漁業生産状況

(単位：kg(くろのりは千枚))

種 類	平成 23 年度	平成 22 年度
魚 類	121,965	132,291
水産動物類	55,207	61,768
ア サ リ	409,063	271,035
その他の貝類	12,938	12,778
く ろ の り	35,404	37,618
あ お の り	855	1,085

(3) 漁船数

(単位：隻)

地 区 名	3 t 未満	3 t 以上 5 t 未満	5 t 以上 10 t 未満	10 t 以上	計
東大淀	61	6	1	0	68
村 松	44	6	11	0	61
有 滝	67	3	14	0	84
東豊浜	78	7	7	0	92
大 湊	20	0	0	0	20
一 色	15	0	1	0	16
神 社	1	0	0	0	1

今一色	185	6	0	1	192
江	39	0	0	0	39
松 下	30	0	0	0	30
合 計	540	28	34	1	603

(平成 23 年 4 月 1 日現在)

(4) 漁業就業者の年齢構成

(単位：人)

区 分	男	女	計
20 歳未満	1	0	1
20～30 未満	1	0	1
30～40 未満	5	1	6
40～50 未満	18	11	29
50～60 未満	32	25	57
60～70 未満	74	80	154
70 歳以上	141	67	208
計	272	184	456
平均年齢（歳）	67.0	65.5	66.4

(平成 23 年 4 月 1 日現在)

2 水産振興事業

(1) 水産教室実施事業

水産業を将来就く職業の一つとして考えてもらうために、市立大湊小学校 5 年生（28 名）に対して、漁業に関する講習を行い、体験実習・施設見学をしてもらうことで、漁村・漁業への興味の高揚を図った。

実施場所	内 容	事業費	開催日
大 湊 町 有 湊 町 地 内	○講習：「伊勢市の漁業の概要」「アサリと伊勢湾」 ○体験実習：「アサリ漁体験」 ○施設見学：「伊勢湾南部中間育成施設見学」	円 36,979	23. 9. 27

(2) 魚礁効果調査事業

昭和 54 年から平成 10 年までの間に伊勢市地先に設置した魚礁について、設置状況と魚類等の集状況を調査し、適切な施設の維持管理及び設置効果を検証した。

また、漁業者に対して報告会を開催し、操業の効率性・安全性の向上を図った。

実施場所	内 容	調査箇所数	事業費	実施期間
東 大 淀 町 地 先 ほ か	魚礁の設置状況（位置・水深・現況など）、魚礁への魚類・水産動物類等の集状況、魚礁表面への海藻類等の付着状況 など	6 箇所	円 913,500	23. 8～23. 11

(3) 干潟保全活動支援事業

水生生物の産卵場、幼稚魚の保育場など水産資源の保護・培養のほか、水質浄化などの役割をもつ干潟は、近年、海洋環境の悪化などにより機能が低下しているため、地区漁業者が中心となる活動組織が干潟保全活動を行い、干潟機能の回復と漁場環境の改善を図った。

実施主体	実施場所	内 容	負担金	実施期間
今 一 色 干潟保全会	二 見 町 今 一 色 地先干潟	計画づくり、モニタリング、保全活動 (耕うん、保護区域の設定、稚貝等の 沈着促進、浮遊・堆積物の除去)	円 575,000	23. 4～24. 3

(4) 各種補助金事業

事 業 名	事業主体	事 業 量	事 業 費	市補助金	成 果
アサリ養殖 振興事業	伊勢湾漁業 協同組合	村松町地先ほかに アサリ種苗を放流 放流量 35 t	円 6,129,959	円 1,838,000	アサリ資源の増大 と漁家経営の安定、 アサリの浄化作用による環境保 全を図った。
種苗(クルマ エビ等)育成 事業	伊勢湾漁業 協同組合	クルマエビ 100 万尾 ヨシエビ 50 万尾 クロダイ 6 千尾 ヒラメ 13 千尾 各種苗を松阪市東 黒部町地先～伊勢 市二見町松下地先 に放流	2,500,000	144,000	クルマエビ・ヨシ エビ・ヒラメ(中 間育成後)、クロダ イの種苗を放流し、 資源の増大と漁家 経営の安定を図った。
稚鮎等放流 事業	宮川漁業 協同組合	アユ 3,400 kg ウナギ 70 kg アマゴ 100 kg 各種苗を宮川流域 に放流	9,925,350	600,000	宮川流域のアユ・ ウナギ・アマゴの 資源の増大と生産 の向上を図った。
漁業近代化資 金利子補給	三重県信用 漁業協同組 合連合会	東日本大震災で被 害を受けた漁業者 の資金借りに 生じる利子を補給 借入件数 10 件	23,480,000	73,817	復旧に必要な資金 の借りの円滑化と 漁業経営の再生を 図った。
計	4 件	—	42,035,309	2,655,817	—

(5) 栽培漁業の指導・推進

伊勢湾漁業協同組合が取組むクルマエビ、ヨシエビ、クロダイ、ヒラメの種苗放流について、放流適地・放流方法について指導した。

なお、平成 17 年度に完成した伊勢湾南部中間育成施設(県営)でのクルマエビ、ヨシエビ、ヒラメの中間育成が実施され、放流サイズが大きくなり、生残率も向上した。

(6) 担い手対策

水産業の担い手対策の重要性から水産教室を開催し、水産業の魅力を小学生に啓発した。

さらに、水産物の安定供給をはじめ、漁業の持つ多面的機能を永続的に十分発揮させるため、平成 18 年度に「漁業の担い手等を考える会」が伊勢湾漁業協同組合主体で発足し、これからの漁業の担い手確保のための方策を模索している。

(7) アサリ勉強会

伊勢市の漁業の中心であるアサリ採貝漁業は、昭和 60 年頃をピークに経営体数、漁獲量とともに減少の一途をたどっており、その状況を打開するために、漁協・漁業者と協働で、平成 21 年 2 月に発足した「アサリ勉強会」や、漁連・漁協・漁業者・県等と連携する中で、平成 22 年 3 月に発足した「三重県あさり協議会」を通じて、資源確保や生産力向上のため、問題・課題の把握からその解決策の検討・実施に向けて取り組んでいる。

○ 漁港管理関係

1 漁港の施設

漁 港 名	種別	外郭施設		係留施設	
		22 年度末 現在	23 年度末 現在	22 年度末 現在	23 年度末 現在
村 松	第 1 種	1,403 ^m	1,403 ^m	486 ^m	486 ^m
江	第 1 種	1,564	1,564	261	261
松 下	第 1 種	502	502	101	101
豊 北	第 2 種	5,867	5,867	1,825	1,825
計	—	9,336	9,336	2,673	2,673

2 漁港・海岸維持管理事業

伊勢市が管理する漁港の安全対策や標識灯の点検業務委託を行い、施設の機能維持を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
有 滝 町 地 内	(注 1) 豊北漁港係船環交換工事	係船環設置・撤去工 N=10 箇所	円 598,500	23. 3. 28	23. 4. 6
〃	豊北漁港社護神樋門 ステップ設置工事	ステップ設置工 N=3 箇所	36,750	23. 4. 11	23. 4. 22
村 松 町 地 内	村松漁港陸間盗難防止用 ガイドレール設置工事	盗難防止用 ガイドレール設置工 N=2 箇所	378,000	23. 4. 18	23. 5. 17
二 見 町 江 地 内	江漁港照明灯修繕工事	照明灯修繕 N=1 箇所	7,350	23. 4. 22	23. 4. 28

東 豊 浜 町 地 内 先	(注 2) 豊北漁港標識灯修繕工事	灯部交換工 N=2 箇所	円 798,000	23. 5. 17	23. 6. 20
有 滝 町 地 内	(注 2) 豊北漁港区画線設置工事	区画線工 L=540m	283,500	23. 9. 12	23. 10. 11
東 豊 浜 町 地 内	豊北漁港西条第 2 陸開門 修繕工事	取付金具修繕 N=1 箇所	10,500	23. 10. 21	23. 10. 31
計	7 件	—	2,112,600	—	—

(注 1) 平成 22 年度から一部繰越

(注 2) 平成 22 年度から繰越

イ 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
東 豊 浜 町 地 内 ほ か	漁港用地利用求積図 作成業務委託	用地利用求積図作成 1 式	円 745,500	23. 6. 16	23. 8. 12
東 豊 浜 町 地 内 先	豊北漁港標識灯 保守点検業務委託	標識灯点検 N=3 基	68,250	23. 9. 13	23. 9. 26
計	2 件	—	813,750	—	—

3 水産物供給基盤機能保全事業

漁港施設の経年による老朽化が著しいことから、効果的・効率的な施設の改良・更新による施設の長寿命化を図るため、施設の老朽化機能診断に基づいて、機能保全計画書を作成した。

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
東 豊 浜 町 地 内 ほ か	豊北漁港機能保全計画書 作成業務委託	保全計画書作成 1 式	円 18,100,950	23. 12. 2	24. 3. 22

○ 漁港建設関係

1 豊北漁港整備事業

航路に土砂が堆積し、船舶の航行に支障をきたしているため、航路浚渫を行い、船舶の安全な航行確保を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
東 豊 浜 町 地 内 先	(注) 豊北漁港航路浚渫工事	-1.5m航路浚渫 A= 3,330 m ² V=10,080 m ³ -1.5m船揚場浚渫 A= 1,020 m ² V= 1,366 m ³	円 40,043,850	23. 3. 11	23. 8. 4

(注) 平成 22 年度から一部繰越

2 豊北漁港改良事業

有滝護岸に段差が生じているため、修繕工事を行い、漁業者が安全・安心した作業を行えるように、機能回復を行った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
有 滝 町 地 内	豊北漁港 護岸修繕工事	施工延長 L= 60.0m 護岸工 L= 60.0m 舗装工 A=215.0 m ²	円 2,098,950	23. 11. 25	24. 1. 23

3 津波・高潮危機管理対策緊急事業

漁港区域内における護岸の老朽化が著しいことから、早期に改修を行い、背後地の住民の生命・財産を守るため、護岸の設計を行った。

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
東 豊 浜 町 地 内	豊北漁港護岸 測量業務委託	測量業務 1 式	円 1,410,150	23. 11. 4	24. 2. 15
〃	豊北漁港護岸 地質調査業務委託	地質調査業務 1 式	2,996,700	23. 11. 4	23. 12. 28
〃	豊北漁港護岸 構造設計業務委託	設計業務 1 式	5,505,150	23. 12. 9	24. 3. 15
計	3 件	—	9,912,000	—	—

○ 緊急雇用対策関係

1 獣害対策強化事業

6月1日から11月30日までの6ヶ月間、臨時職員を2名雇用し、獣害被害を受けている地域を重点的にパトロールし、野生動物出没時の追払いや、発信機付き猿群れの動向を調査して情報提供を行うなど、被害軽減に努めた。

事業費 2,676,617 円

2 緩衝帯整備業務委託

野生獣出没による被害防止の一環として、隠れ場を無くすなど野生獣を寄せつけない環境整備（緩衝帯整備）を目的に、田畑と隣接している森林や耕作放棄地等の林縁から10mの範囲で樹木の伐倒や下刈り、枝払い等を実施した。

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
神 藺 町 地 内	緩衝帯整備業務委託 (緊急雇用創出事業)	刈り払い・伐倒 A=13,270 m ³	円 3,675,000	23. 10. 19	24. 3. 21

○ 東日本大震災対策関係

1 津波被害復旧等事業

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の津波で損壊した施設の残骸処分等を行う漁協を支援し、漁場機能の回復と漁業生産の再開、地域経済の安定を図った。

事業名	事業主体	事業量	事業費	市補助金
津波被害復旧事業	伊勢湾漁業協同組合	黒のり養殖施設の残骸処分 V=342 m ³	円 9,670,500	円 9,312,000
二見地区海水吸水施設土砂撤去事業	伊勢湾漁業協同組合	海水吸水施設の土砂撤去 L=50m	1,538,000	1,024,000
計	2 件	—	11,208,500	10,336,000

○ 災害復旧関係

1 農地・農業用施設災害復旧事業

平成 23 年 9 月 1 日～4 日にかけて発生した豪雨により被災した箇所の復旧を行い、施設の機能回復を図った。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
神 薮 町 地 内	16-1 薮揚水機場操作盤修繕工事	操作盤修繕 工 1 式	円 1,407,000	24. 1. 27	24. 3. 15
〃	切間揚水機場操作盤修繕工事	操作盤修繕 工 1 式	310,800	24. 1. 27	24. 3. 15
計	2 件	—	1,717,800	—	—

イ 重機借上関係

	施行場所	工事概要	金額
重 機 借 上	神薮町地内ほか 2 件	土砂撤去	円 937,860

2 林業用施設災害復旧事業

平成 23 年 9 月 1 日～4 日にかけて発生した豪雨により被災した箇所の復旧を行い、施設の機能回復を図った。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
横 輪 町 地 内	ホラ林道災害に伴う応急仮工事	施工延長 L = 14.0m	円 241,500	23. 10. 7	23. 10. 24
〃	ホラ林道災害復旧工事	施工延長 L = 14.0m	2,101,050	24. 1. 27	24. 3. 27
計	2 件	—	2,342,550	—	—

3 漁港等災害復旧事業

(1)平成23年7月19日に発生した台風6号により、豊北漁港内にゴミが漂着し、漁船の航行に支障となっていたため、これらの撤去を行い、船舶の航路回復と安全航行の確保を図った。

ア 重機借上関係

	施 行 場 所	金 額
重 機 借 上	豊北漁港 有滝町地内	円 256,515

(2)平成23年7月19日に発生した台風6号により、豊北漁港海岸に流木等が漂着し、周辺海域を航行する船舶の支障となっていたため、これらの撤去を行い、船舶の航路回復と安全航行の確保を図った。

イ 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
有 滝 町 地 内 ほ か	漂着物撤去処分業務 委託	漂着物撤去処分工 V=442 m ³	円 7,100,100	23. 9. 7	23.11.11

○ 他課関係依頼工事

他課から依頼があった次の業務について、その設計及び監督を行った。

ア 工事関係

所 属	施行場所	工 事 名	工事概要	金 額
観 光 事 業 課	中 島 2 丁 目 地 内 ほ か	第59回全国花火大会施設（その1）工事	放揚施設工事 一式 会場周辺安全施設工事 一式 場内施設工事 一式 雑工事 一式 施設撤去、原形復旧一式	円 11,291,700
観 光 事 業 課	中 島 2 丁 目 地 内 ほ か	第59回全国花火大会施設（その2）工事	会場周辺安全施設工事 一式 場内施設工事 一式 栈敷工事 一式 雑工事 一式 施設撤去、原形復旧一式	9,508,800
〃	〃	第58回全国花火大会電気設備工事	電話・電灯設備 一式 仮設工事 一式 施設撤去 一式	2,709,000
病 院 総 務 課	楠 部 町 地 内	楠部町用水路補償工事	用水路補償工事 一式	999,600

消 防 課	藤 里 町 地 内 ほ か	消防水利標識設置工事	標識設置工 15 箇所	円 1,136,100
〃	小俣町元町 地 内 ほ か	防火水利蓋改修 (その1) 工事	防火水槽蓋改修工 5 箇所 防火井戸閉塞工 1 箇所	1,203,300
〃	勢 田 町 地 内 ほ か	防火水利蓋改修 (その2) 工事	防火水槽蓋改修工 4 箇所 防火井戸閉塞工 1 箇所	997,500
〃	古 市 町 地 内	消防水槽撤去・新設工 事	防火水槽設置工 1 箇所	6,936,300
計	8 件	—	—	34,782,300

観 光 企 画 課

平成 23 年度は、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の影響で旅行控えの傾向が続く中、9 月 2 日、3 日の台風 12 号通過によって紀伊半島などを中心に大規模な水害、土砂災害が発生するなど、自然災害が観光面にも大きな影響を与えた 1 年となりました。

国際面については、円高の進行や東日本大震災による原発事故、尖閣諸島問題等不安定要因を抱えながらも、平成 23 年 9 月 1 日には中国人個人向け観光ビザの発給要件が緩和されるなど、追い風となる動きが見られました。

交通面では、6 月 20 日から高速道路無料化社会実験が凍結され各種有料道路の利用車数に影響を与える一方、平成 23 年 3 月 1 日には日本初の本格的 LCC（格安航空会社）が就航し、その後も各社が参入を表明するなど、空の便は活発な動きを見せています。

平成 25 年の遷御に向けた第 62 回神宮式年遷宮諸祭行事については、平成 24 年 3 月に外宮・内宮それぞれの正宮造営に際して立柱祭、上棟祭が執り行われました。また神宮式年遷宮についてより理解を深める拠点として、平成 24 年 4 月 7 日には外宮敷地内に「せんぐう館」が開館しました。このように遷宮に向かう機運が盛り上がる中、今年度も多くのマスコミ媒体で伊勢、伊勢志摩地域が取り上げられました。

伊勢市の観光入込み客数については、伊勢神宮参拝者数が平成 23 年（1～12 月）は約 788 万人で、前年と比べ約 94 万人減少しましたが、その後の平成 24 年 1～3 月は、対前年比 101.2%と微増に転じました。特に外宮参拝者数に関しては対前年比 104.8%と増加しており、当市の外宮周辺誘導施策の効果が見える結果となりました。

外国人参拝者数については、平成 23 年（1～12 月）は約 26,000 人で、東日本大震災と円高進行による影響が大きく、4～10 月が対前年比 40.4%と大きく減少しました。その後回復傾向となり、11 月、12 月は対前年増となっています。

第 60 回、第 61 回の遷宮年の 2 年前の状況と比べた場合、自然災害や 1 月、2 月の天候不順、リーマンショック等による近年の景気低迷にも関わらず、多くの方が来勢されたと言えます。

○ 観光施設管理運営事業

1 伊勢市矢持会館管理事業

平成 21 年 4 月 1 日から運営を休止していた農林漁業体験実習館の施設を、平成 23 年 4 月 1 日から伊勢市矢持会館と名称を変更し、矢持町下村区を指定管理者と定め、集会施設として運営を開始しました。

（1）委託金額 250,000 円（指定管理料）

（2）利用者数 1,270 人

○ もてなし心醸成事業

1 伊勢活性化プロジェクト事業

(1) 伊勢観光活性化プロジェクト会議の開催

伊勢を訪れる人々に満足していただくため、どのように伊勢の観光まちづくりを展開していけばよいかを市民、事業者、団体、行政がみんなで考え、そして実行につなげようと、平成 19 年 9 月から「伊勢観光活性化プロジェクト会議」を開催し活動しています。平成 23 年度も引き続き「人」「食」「環境」の 3 つのテーマ・部会による取り組みを行いました。

参加数：団体参加数 47 団体 54 人、個人参加数 34 人 計 88 人（H24. 3 月末現在）

会議開催数：全体会議 4 回、世話人会 4 回、食部会 13 回、人部会 17 回、環境部会 10 回

主な活動：外宮前名物「御饌井」支援、駅周辺おやつマップの作成（食部会）、誰でも易しく伊勢を学べる単語帳「伊勢あんちょこ」の開発、子どもたちの駅前案内体験「一日伊勢っ子案内人」の実施（人部会）、サイクリングコースのデータ化（環境部会）

(2) 外宮前名物「御饌井（みけどん）」事業

参加店舗 16 店舗と食部会代表 3 名からなる組織「御饌井の会」で、外宮のお膝元から食への感謝を発信しようとして取り組んでいます。三重県や当課の誘客宣伝諸事業に乗せて情報発信を行い、旅行商品に組み入れられたりマスコミ媒体で取り上げられる一方で、昨年度に引き続きイベント出店を数多く行い地元への PR にも力を入れました。またアドバイザーに来ていただき、分かりやすく食の大切さが発信できるよう、しくみや情報発信方法の見直しを行いました。

販売個数：総計 15,425 食（平成 23 年 4 月～平成 24 年 2 月分／ブース出店分含む）

ブース出店実績：

期日	イベント名	御饌井販売数（食）
H23. 5. 14, 15	外宮参道屋台市	85
H23. 6. 1, 4, 11, 18, 25 H23. 7. 2, 9	高柳の夜店	435
H23. 7. 23	しんみち屋台村	75
H23. 8. 1	ゆかたで千人お参り	68
H23. 10. 15	神嘗奉祝祭エンヤ市、しんみち屋台村	222
H23. 10. 16	しんみち屋台村	48
H23. 11. 5	神楽月外宮さん参り	70
H23. 12. 10, 11	お伊勢さん健康マラソン	380
H24. 3. 18	美し国ふるさとフェスティバル	140

会議開催数：役員会 6 回、全体会議 3 回

会費：1 店舗につき年 12,000 円（平成 23 年度から開始）

マスコミ掲載：41 件（事務局に連絡があったもの）

その他の取り組み：

アドバイザー派遣 5 回

御饌井講座の開催（平成 24 年 3 月 27 日、28 日 18 店舗 21 名参加）

スタンプラリーの実施（平成 24 年 2 月 1 日～平成 24 年 4 月 30 日 参加店舗 13 店舗）

2 バリアフリー観光向上事業

日本全体が高齢化し人口減少社会へ向かう中、高齢者や障がいを持つ方に観光旅行を楽しんでいただく基盤を整え、新たなマーケットを掘り起こすことで国内の宿泊旅行者数を増加させることを目的に、市内観光宿泊施設に対し、バリアフリー観光の無料相談やバリアフリー改修補助金の交付（1／2補助・上限400万円）などの支援を行いました。なお、バリアフリー観光のコンセプトや必要性について理解いただいた上での支援となるため、勉強会への参加を支援の条件としました。

勉強会：第1回（伊勢会場） 平成23年5月25日開催 参加施設 10施設

第2回（二見会場） 平成23年6月17日開催 参加施設 10施設

無料相談：初期診断利用回数 13回

工事施工にかかる相談利用施設 11施設

改修補助：利用施設数 7施設

○ 旅客誘致受入宣伝事業

1 観光情報発信事業

（1）媒体広告宣伝による誘客活動

新聞や雑誌等の広告媒体を活用し情報発信を行いました。この内広告展開においては、伊勢志摩観光コンベンション機構、三重県、周辺市町、伊勢志摩キャンペーン等において実施する広告と地域が重複しないよう、棲み分けを行いました。また伊勢市独自の手法として、ターゲットとなる地域や客層を見据えた企画持込を実施し、データ入稿、空き紙面活用などの工夫により、経費削減につなげました。

平成20年度決算額・・・2,198千円（掲載件数34件）

平成21年度決算額・・・4,418千円（掲載件数55件）

平成22年度決算額・・・4,419千円（掲載件数54件）

平成23年度決算額・・・5,020千円（掲載件数57件）

平成23年度実績

	媒体名	掲載日	備考
1	オフィスマガジン GaRiYa	4.25	福岡
2	わらふく	5.10	北海道
3	月刊九州王国	5.15	九州
4	旬刊旅行新聞	6.1	全国
5	p o r o k o	6.20	北海道
6	E L F	6.20	福岡
7	オントナ	6.22	北海道
8	大人の贅沢	6.23	長野（北信）
9	W I N K	6.23	広島
10	プースカフェ	6.25	長野（北信）
11	T-wang.mini「Ow!」	6.30	三河
12	a . u n	6.30	静岡
13	t o m a t o	7.1	広島
14	市民タイムス	7.6	長野（中信）

	媒体名	掲載日	備考
30	オフィスマガジン GaRiYa	9.26	福岡
31	市民タイムス	9.28	長野（中信）
32	週間いいだ	9.29	長野（南信）
33	T-wang.mini「Ow!」	9.30	三河
34	t o m a t o	10.1	広島
35	週刊いな	10.6	長野（南信）
36	週刊まつもと	10.7	長野（中信）
37	信濃毎日新聞週末情報	10.7	長野（北信）
38	a . u n	10.31	静岡
39	旬刊旅行新聞	11.1	全国
40	大人の贅沢	12.15	長野（北信）
41	ハイウェイマップ	12.1	東海・近畿
42	大人の贅沢	12.15	長野（北信）
43	信濃毎日新聞	1.3	長野

15	奈良新聞	7. 9	奈良	44	p o r o k o	1. 20	北海道
16	週刊いいだ	7. 14	長野(南信)	45	ノンルージュ	1. 25	北海道
17	聖教新聞	7. 14	東海3 県	46	オントナ	2. 1	北海道
18	p o r o k o	7. 19	北海道	47	週刊まつもと	2. 24	長野(中信)
19	D o ! s u l	7. 21	長野(北信)	48	プースカフェ	2. 25	長野(北信)
20	週刊まつもと	7. 22	長野(中信)	49	中日新聞	2. 28	中部7 県
21	ノンルージュ	7. 25	北海道	50	a . u n	2. 29	静岡
22	大人の贅沢	7. 28	長野(北信)	51	T-wang.mini 「Ow!」	2. 29	三河
23	週刊いな	7. 28	長野(南信)	52	t o m a t o	3. 1	広島
24	わらふく	9. 10	北海道	53	週刊いな	3. 8	長野(南信)
25	月刊九州王国	9. 15	九州	54	週刊まつもと	3. 9	長野(中信)
26	オントナ	9. 14	北海道	55	市民タイムス	3. 14	長野(中信)
27	E L F	9. 20	福岡	56	E L F	3. 19	福岡
28	W I N K	9. 23	広島	57	オントナ	3. 21	北海道
29	プースカフェ	9. 24	長野(北信)	全 57 誌・発行部数累計 10,398,984 部			

(2) バス車体広告

観光バス(大型車)の全面広告を行い、県内外各地に伊勢を宣伝しました。

運行状況：

運行月	運行日数	運行エリア
7 月	8 日	奈良、宝塚、鳥羽、岡崎(3 日)、神戸、四日市
8 月	15 日	西宮、大阪(2 日)、京都、熊野(2 日)、橿原、志摩(3 日)、奈良、名張、飯田、岡崎、豊橋
9 月	15 日	飛騨(2 日)、岐阜(2 日)、伊勢志摩(2 日)、恵那、大阪、津、奈良、和歌山(2 日)、熊野、松阪、京都
10 月	24 日	京都(2 日)、鳥羽、伊勢(7 日)、天理、名古屋、鈴鹿、賢島(2 日) 駒ヶ根、宇奈月(2 日)、網代(2 日)、六甲、高野山、白川郷、宮島
11 月	26 日	飯田、高野山、勝浦(2 日)、賢島、伊勢(4 日)、飯田、雄琴、館山寺、鳥羽(2 日)、三方5 湖、下呂温泉(2 日)、鳥羽、関西空港、京都、宮島(2 日)、神戸(2 日)、美濃、小原
12 月	11 日	愛知(2 日)、セントレア、県内(6 日)、京都、蒲郡
1 月	14 日	箱根(2 日)、県内(4 日)、名古屋、白馬(3 日)、奈良、京都、岐阜、関ヶ原
2 月	18 日	セントレア、白馬(5 日)、的矢、滋賀、名古屋、焼津、伊東、熱川(2 日)、ひるがの高原、スペイン村、めいほう(2 日)、チャオ御嶽
3 月	17 日	岐阜、県内(3 日)、和歌山、愛知、長野(7 日)、京都、大阪、愛知、福井
計	148 日	

※バス運行期間：平成 23 年 7 月 8 日～平成 24 年 3 月 31 日

委託先：三交旅行株式会社

委託金額：2,583,000 円

委託期間：平成 23 年 5 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

(3) 旅行会社へのセールス活動

平成 25 年の第 62 回神宮式年遷宮を伊勢への送客のきっかけにさせていただこうと、旅行会社へのセールスを実施しました。旅行会社のお客様に向けた正しい情報の提供、地元から生まれた商品の情報の提供などを行い、旅行会社が旅行商品を造成しやすい地域として認識されるよう、伊勢を売り込みました。売り込みに際しては、利潤につながる内容にすることで遷宮後も継続して展開していける関係をつくるため、(株)観光販売システムズに一部業務を委託し各種対応を行っています。

なお、首都圏、関西、中京圏においては、既に伊勢志摩キャンペーン事業、三重県、周辺市町並びに観光事業者が伊勢神宮等を関連させた商品造成の働きかけを行っているため、伊勢市としてはこれら以外の地域へも積極的な営業活動を行っております。平成 23 年度は、5 月に首都圏、6 月に中国・四国、九州、8 月に長野、11・12 月に北海道、中国・四国、九州の主要旅行会社への営業を市として実施しました。すでに旅行商品を展開している旅行会社に対しては、平成 24 年 4 月以降の継続をお願いし、まだ展開していない旅行会社へは、新たな商品提案を行いました。

(4) ホームページを活用した情報発信

インターネットを活用して、(社)伊勢市観光協会と共同運営するホームページで、観光情報の発信を行っています。

※平成 14 年 3 月開設（平成 21 年 10 月 1 日全面リニューアル）

年度	アクセス数 (携帯電話含む)	稼動日数	一日平均
13	999	7	142.7
14	77,936	365	213.5
15	106,076	365	290.6
16	132,977	365	364.3
17	214,240	359	596.8
18	350,359	365	959.9
19	436,068	366	1,191.4
20	444,759	365	1,218.5
21	494,421	335	1,475.9
22	723,104	365	1,981.1
23	837,292	366	2,287.7
計	3,818,231	3,623	1,053.9

※システム移行により平成 21 年 9 月のアクセス数は算出不能

このため、平成 21 年度の数値は 11 箇月分の合計値となっています。

(5) 観光パンフレットの利活用による情報発信並びに誘客活動

伊勢にお越しいただく方により一層お楽しみいただくことで滞在時間を延長させ、観光消費額を増やすことを目的とした総合観光パンフレット（ええじゃないかお伊勢さん）、また観光展や P R イベントにおける伊勢の概要を紹介した観光パンフレット（神の庭、ええじゃないかお伊勢さん概要版、二見浦等）、町歩き等をお楽しみいただくマップ（伊勢市内マップ、ポケナビ、グルメマッ

プ、伊勢うどんマップ）など、目的別に（社）伊勢市観光協会と共同で、作成・増刷し配布しました。配布にあたっては、観光展等での配布のほか、観光案内所での配布、各種集大会による来訪者への配布、広告事業と連動した媒体等を通じたパンフレット送付依頼対応、旅行会社等での配布を行いました。また、今年度は四季折々の情報を集約した「伊勢の四季報」を新たに発行し、情報提供を行いました。

年度	パンフレット郵送件数
18	522
19	527
20	1,081
21	1,426
22	1,261
23	966

（６）遠方地域誘客宣伝事業

平成 25 年の第 62 回神宮式年遷宮に向けた観光入込客増大を目的に、市場動向から開拓の遅れている地域に焦点を当てた誘客強化の一環として、さっぽろ雪まつりへの参画を行う事業です。北海道市場は平成 19 年度から誘客に取り組んでいますが、掲載広告に対する反応の上昇、旅行会社の送客数の増加など、年々認知度は向上しています。平成 21 年度からさっぽろ雪まつり大通会場に伊勢の観光案内ブースを出展していますが、入場者からの質問が「伊勢神宮とは？」から「遷宮はいつあるのか？」といった具体的な内容に移行してきており、年々道民の伊勢に対する認知度が向上していることが伺えます。

（７）外宮周辺魅力創出・発信事業（伊勢商工会議所協働事業）

内宮周辺に集中している観光客を、外宮周辺の集客事業を行うことによって分散し、さらに市内周遊につなげることを目的に、各種事業を行いました。

① 外宮誘客事業

内宮・外宮間での外宮誘客をデザインした路面バス 2 台の運行、高速サービスエリア・パーキングエリア・料金所・近鉄各駅・宿泊施設等への外宮誘導チラシ配布、高速道路橋梁への横断幕の設置、携帯サイトの作成。

② 外宮周辺資源活用事業

外宮周辺の魅力を紹介したまち歩きパンフレットの観光案内所・市内主要施設、県内外イベント等での配布。

③ 朝市・参宮木札事業の広報並びに組織育成支援事業

木札施行店舗マップの作成配布、朝市集合チラシの実施、市民ボランティアとの連携による参宮木札配布。

2 広域連携事業

(1) 広域観光振興事業にかかる各種協議会への参画

伊勢熊野観光連絡協議会・(社)三重県観光連盟・(財)伊勢志摩国立公園協会・伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会・伊勢鳥羽志摩観光連絡協議会・(社)日本観光振興協会・歴史街道推進協議会・NPO法人全国街道交流会議・全国夫婦岩サミット連絡協議会に参画し、事業展開を図っています。

(2) 平家ゆかりの地連携事業

平成24年1月にNHK大河ドラマ「平清盛」が放送開始されることに伴い、伊勢志摩地区の平家ゆかりの地を宣伝するため、(社)伊勢市観光協会と協働で、平家ゆかりの地マップの作成等に取り組みました。また、平成23年12月17日には広域での誘客を目指し、伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町の自治体、商工会、商工会議所、観光協会・三重県・(社)三重県観光連盟・(社)伊勢志摩観光コンベンション機構による協議会を設立しました。

3 「はじまりのまち伊勢」誘客戦略推進事業

平成17年度から引き続き、平成25年の第62回神宮式年遷宮に向けた誘客の一環として、伊勢の旅行商品の開発、旅行会社向け資料の作成を行い、東海、関西、関東を中心に、北海道、中国・四国、九州など全国の旅行会社への企画提案と流通促進を行いました。

実施に当たっては、専門業者に業務を委託することで、特定の旅行会社への偏りを無くし、新規開拓も含め広い対象地域を設けることで、伊勢への来訪客増加を目指しました。

平成23年度は特に、「食べ歩きクーポン」「お伊勢さん観光案内人」を活用した商品展開と、平成24年4月に「せんぐう館」が開館されることに合わせ、CANバス等の公共交通機関を活用した商品導入に力を注ぎました。

4 各種集大会等誘致開催補助金

市内への集大会の誘致を図り、市内への来訪・滞在者数を増加させることにより、観光による経済波及を促すため、集大会を主催する団体等に対し、各種集大会等誘致開催補助金を交付しました。

補助金額は、延べ宿泊者人数に応じて要綱に定めた額を補助しました。(例：100～199人の場合60,000円)

期 日	集 大 会 名	延参加人員 (人)	延宿泊人員 (人)	会 場	補助確定金額 (円)
5.3 ～5	読売杯第26回日本少年野球 中日本大会	500	167	伊勢市倉田山公園野 球場ほか	60,000
5.4 ～5	第4回 P u r o C U P	800	217	朝熊山麓公園フット ボール場 (人工芝)	90,000
6.4 ～5	第44回全日本社会人ターゲ ットアーチェリー選手権大 会	316	70	三重県営サンアリー ナ特設アーチェリー 競技場	10,000

7.26 ～29	2011 プレインターハイユース交流大会 I N 三重	1,400	451	朝熊山麓公園フットボール場	150,000
7.30 ～8.1	第 4 回ソシエタフェスティバル U14	750	296	朝熊山麓公園フットボール場（人工芝）	90,000
8.6 ～7	第 4 回東海クラブバスケットボール選抜優勝大会	700	211	三重県営総合競技場体育館	90,000
8.27 ～29	神宮奉納第 20 回記念日本少年野球小学部三重大会	2,400	826	伊勢市倉田山公園野球場ほか	270,000
9.17 ～18	第 7 回 J F A 三重ガールズサッカーフェスティバル I N 伊勢志摩	1,000	205	朝熊山麓公園フットボール場（人工芝）	90,000
9.18	第 9 回全国シニアユニホック大会	235	49	三重県営サンアリーナ	10,000
9.22 ～26	第 62 回全日本男子弓道選手権大会・第 44 回全日本女子弓道選手権大会	889	572	伊勢神宮弓道場	180,000
9.23 ～24	第 9 回 G S L 近畿・四国大会兼第 1 回いすずウキウキクラブ杯争奪大会	370	343	五十鈴公園野球広場ほか	120,000
10.1 ～2	第 7 回神宮奉納全国惑ラグビー伊勢大会	529	319	朝熊山麓公園フットボール場	120,000
10.22 ～23	神宮奉納全国生涯野球チア・アップ伊勢大会	814	205	三重県営大仏山公園野球場ほか	90,000
10.22 ～23	第 55 回全国サイクリング大会 i n みえ	788	311	三重県営サンアリーナほか	120,000
11.12 ～13	神宮奉納第 10 回記念日本少年野球中学生三重大会	2,500	1,039	伊勢市倉田山公園野球場ほか	330,000
11.13	第 8 回 N H カップ 東海ユース U11・U12 8 人制サッカー大会	363	173	朝熊山麓公園フットボール場（人工芝）	60,000
11.19 ～21	第 49 回伊勢神宮奉納第 59 回全日本学生弓道王座決定戦ほか 3 大会	1,049	965	伊勢神宮弓道場	300,000
12.3 ～11	第 2 回日本少年野球 心のふるさと伊勢さん大会	2,530	902	伊勢市倉田山公園野球場ほか	300,000
12.23 ～25	第 5 回おいしいカップユースサッカー大会	900	153	朝熊山麓公園フットボール場ほか	60,000
1.6 ～7	2012 年 伊勢 初蹴り交流戦	240	120	朝熊山麓公園フットボール場（人工芝）	60,000
1.28 ～29	第 17 回サンアリーナカップバスケットボール大会・第 32 回三重県中学生新人バスケットボール大会	4,500	75	三重県営サンアリーナ	10,000
2.18 ～19	第 3 回おひなさまカップ i n 二見	375	111	朝熊山麓公園フットボール場	60,000
3.10 ～11	第 3 回 F C T R E V O 招待 T R E V O C U P	1,000	149	朝熊山麓公園フットボール場	60,000
3.17 ～18	第 21 回東海地域小中学生ソフトボール新人大会	1,100	216	三重県営大仏山公園野球場ほか	90,000

3.24 ～26	第 15 回伊勢市高校サッカー フェスティバル	415	123	朝熊山麓公園フット ボール場（人工芝） ほか	60,000
3.25 ～29	平成 23 年度日本陸連 U-18 ジ ュニア選抜強化研修合宿・全 国高等学校体育連盟陸上競 技部強化合宿	1,440	1,388	三重県営総合競技場 陸上競技場ほか	420,000
3.27 ～30	朝熊招待ユースサッカー大 会 2012 春	1,010	122	朝熊山麓公園フット ボール場	60,000
計	27 件	28,913	9,778	—	3,360,000

5 伊勢志摩広域観光活性化事業

（１）（社）伊勢志摩観光コンベンション機構への参画

伊勢志摩地域への誘客による活性化のため、（社）伊勢志摩観光コンベンション機構（平成 6 年 3 月設立、平成 14 年 11 月名称変更、平成 18 年 4 月社団法人化）に参画し、伊勢志摩への集大会・会議・展示会・イベント等のコンベンション誘致、伊勢志摩地域の情報発信に向けた観光事業・フィルムコミッション事業、地域観光圏整備事業を展開しました。

（２）伊勢志摩キャンペーン事業

平成 23 年 10 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで、三重県・伊勢志摩地域各団体・近畿日本鉄道（株）などと協働で「伊勢志摩キャンペーン」を実施しました。東京・大阪・名古屋地域等における伊勢志摩の観光 PR の実施、ガイドブック、チラシ、ポスター等の作成及び近鉄沿線や旅行会社等への配布、各種媒体を活用した情報発信や、旅行会社とのタイアップによる誘客を展開しました。

（３）三重の観光営業拠点事業

三重県、県内市町等と協力して「三重の観光営業拠点事業」に取り組みました。名古屋での情報発信基地の整備、東京での期間限定トライアルショップ実施等を通じ、観光・物産の情報発信強化等を行い、大都市圏での市場拡大を図っています。

（４）伊勢志摩学生団体誘致事業

平成 23 年度は、首都圏（東京都、横浜市、川崎市、大和市）の公立中学校と、関西圏（大阪市、尼崎市、西宮市、芦屋市、神戸市）の公立小学校、静岡県内の公立小学校を主要ターゲットとし、伊勢志摩地域の行政、民間施設等が共同により学生団体旅行の誘致活動を行う事業です。

事業としては、学生団体旅行ガイドブック「伊勢志摩におこないさあ」の改訂増刷、体験学習指導者のスキルアップを目的とした研修会の開催、学校訪問及び誘致セミナー、現地視察招へい、関係機関との情報交換などを展開しています。平成 23 年度は、7 月に首都圏の公立中学校訪問セールス、8 月に横浜市内で体験学習発表会開催、2 月には関西圏の公立小学校訪問セールスを実施しました。

6 外国人観光客誘致推進事業

マーケットの成長力と規模から注目される中国とともに、ヨーロッパ諸国などからの誘客も視野に入れながら、三重県外国人観光客誘致促進協議会、伊勢志摩地域・鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会、東海地区外国人観光客誘致促進協議会等へ参画し、主に他地域とともに広域で誘客に取り組んでいます。

平成 23 年度は、平成 23 年 8 月 29 日～9 月 1 日に、三重県の訪中ミッションに参画したほか、伊勢志摩地域・鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会では中国国内でのホームページの立ち上げ、中国人観光客向けの伊勢・鳥羽の写真コンテスト実施、中国人ブロガー招へいといった各種取り組みを行い、また観光庁のビジットジャパン事業として中国ゴルフ関係者を招へいしました。市単独としては、外国人特派員協会等との交流強化等に取り組みました。

○ 地域産業首都圏振興事業

1 地域産業首都圏振興事業

(1) 首都圏観光要人招へい事業

首都圏での情報発信を強化するため、伊勢神宮奉納全国花火大会の開催に合わせ、開催日の平成 23 年 7 月 16 日とその翌日の 17 日に事業を実施しました。当日は、伊勢市観光御師や企業の役員等、首都圏でのネットワークを通じ伊勢をアピールしてもらえる要人を招へいし、花火大会を観覧いただきました。また翌日は「伊勢を考える会・第 62 回式年遷宮を迎えるにあたって」と題したシンポジウムを実施しました。

シンポジウムは、東海大学観光学部教授・伊勢市観光御師の太田孝氏の講演「伊勢を考える～日本の旅の原点“伊勢”」の後、太田教授をコーディネーター、松本観光御師、村上観光御師、佐々木観光御師、上島伊勢商工会議所会頭、牧戸伊勢市観光協会会長、鈴木伊勢市長をパネラーとした、パネルディスカッションを実施し、今後の課題の掘り起こしや情報発信のための情報共有等を行いました。

(2) 首都圏情報発信基地整備調査事業

伊勢市の首都圏の情報発信基地について、(社)伊勢市観光協会と協働で調査を行いました。今年度の調査結果により、費用面等多くの課題があることが分かりました。今後は、三重県が首都圏へのアンテナショップ整備を決定させたこともあり、近隣市町の動きを見ながら、整備することの可否も含め、他の手法等も模索しながら進めていきます。

(3) 首都圏 P R 事業

平成 25 年の第 62 回神宮式年遷宮を控え、首都圏での情報発信を強化しました。平成 23 年 9 月 27 日、28 日の両日には、東京交通会館（千代田区）において、商工労政課等と共同で「伊勢の観光物産展」を開催しました。また平成 23 年 11 月 28 日には横浜駅で観光 P R キャラバンを実施、3 月 7 日～9 日には東京交通会館（千代田区）において再度商工労政課とともに観光と物産の P R 活動を実施しました。

○ その他

1 観光行事等への後援

各種観光行事等へ後援し、周知宣伝等の協力を行いました。

開 催 日 等	名 称
H23. 8.12～26（募集期間） 11. 3（記念イベント）	イメージフレグランスコンテスト 2011
H23. 7.16～ 8.31	美し国スカイパス
H23. 9.11	第 56 回ミス伊勢志摩選定会
H23.11. 1～ 4.30	伊勢志摩国立公園森と海は恋人キャンペーン

2 観光関連ふるさと雇用再生事業

雇用情勢の厳しい地域の実情に応じた雇用再生のため、求職者等の雇用機会を創出することを目的に、次の事業を実施しました。

（1）伊勢市観光推進事業

観光客誘致の推進のため、市内の観光情報を総括する地元密着型のホームページを作成するとともに、着地型旅行商品等を企画しました。平成 23 年度は、ホームページに関しては英語サイトの内容の充実と中国語サイト（繁体字）の新規作成を行い、着地型旅行商品に関しては地域の観光資源の掘り起こしを行い、「自転車ツアー」「ピクチャーラリー」「タクシーツアー」の企画を行いました。

委託先：社団法人 伊勢市観光協会

委託金額：9,533,722 円

委託期間：平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日

（2）観光地における災害避難マニュアル作成モデル事業

市内最大の観光地「おはらい町」で災害発生時の災害避難マニュアルを作成し、災害時に従業員および住民がスムーズに観光客を誘導できるような仕組みづくりを実施しました。平成 23 年度はワークショップの開催、観光客を想定した避難訓練、災害避難マニュアルの作成などを実施しました。

委託先：伊勢おはらい町会議

委託金額：8,562,349 円

委託期間：平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日

観 光 事 業 課

○ もてなし心醸成事業関係

1 年末年始旅客の受入対策

地元 12 団体による外宮前大晦日会が外宮参道、伊勢市駅前広場を中心にかがり火、外宮参道ライトアップ、ふるまい等で初詣客をもてなした。

伊勢市観光協会は、初参りの参拝客の観光案内を含めた接遇を行い、大晦日に内宮、外宮で年越餅を各 3,000 個配布するとともに、文化の発信に努めた。

また、市は、1 月 1 日から 3 日に伊勢市駅及び宇治山田駅観光案内所で湯茶のふるまいと観光案内を行い、初詣客を出迎えた。

2 スポーツ関連行事もてなし事業

(1) 第 43 回全日本大学駅伝対校選手権大会

11 月 6 日（日）に熱田神宮西門前から伊勢神宮内宮宇治橋前の 8 区間 106.8km を結ぶ大会が開催された。市内 7 の太鼓団体が沿道で選手を歓迎応援し、ゴール地点の内宮前にて景気花火を放揚するなど選手及び観客をもてなした。

(2) 2011 中日三重お伊勢さんマラソン大会

12 月 11 日（日）に開催されたお伊勢さん健康マラソン大会のおもてなし部門として、前日に二見プラザにてウェルカムパーティーを開催した。

また、大会当日は会場内の物産展等で使用できる「お伊勢さんチケット」を作成したほか、市内入浴施設の協力のもと大会参加者への入浴案内を実施した。

市内 5 の太鼓団体が沿道で全国から参加した選手の歓迎と応援を行った。

(3) 第 5 回美し国三重市町対抗駅伝

2 月 19 日（日）に津市県庁前から市内にある県営総合競技場までの 10 区間 42.195km を結ぶ大会が開催された。市内沿道に歓迎・応援用のぼりを設置したほか、市内 12 の太鼓団体と伊勢市婦人会連絡協議会が選手の歓迎と応援を行った。

3 おもてなし推進事業

(1) 車椅子貸出事業

市を訪れる高齢の方や身体の不自由な方が安心して観光できるよう車椅子の貸し出し計画を策定し、本格導入に向けて 2 月 13 日～26 日までの 14 日間、伊勢神宮内宮周辺の 2 箇所では車椅子の貸し出し実証実験を行い、延べ 47 件の利用があった。

(2) 案内サイン整備事業

宇治浦田の市営駐車場整備に伴い、駐車場からおはらい町・内宮方面への観光客のスムーズな誘導を目的に、駐車场内 8 箇所に誘導サインを整備した。また八間道路では、歩行者の伊勢市駅・宇治山田駅への誘導を目的に、4 箇所に誘導サインを整備した。

(3) 観光人材育成事業

観光業者・タクシー等おもてなし従事者向け研修会を下記のとおり行った。

日 時	研 修 名	場 所	講 師
23. 12. 18	映画作品“ヒトツナギ” 上映と映画監督との意見 交換会	賓日館	映画「ヒトツナギ」監督 板倉 真琴 氏 映画「ヒトツナギ」プロデューサー 岡本 信一 氏
24. 2. 20	式年遷宮のおもてなし を、日本一のバリアフリ ー観光で実現する	伊勢市観光文化会館	NPO法人伊勢志摩バリアフリース アーセンダー理事長 中村 元 氏
24. 3. 25	伊勢市の観光と文化と歴 史	伊勢市生涯学習セン ターいせトピア	お伊勢さん観光ガイドの会 阿形 智恵子 氏

4 案内ガイド連携事業

「案内人の質の向上」「情報共有」「一体感の醸成」を目的に、市内で活動している観光ガイド
団体・案内所の9団体により「伊勢たびナビの会」を設立した。

○ 観光一般事業関係

1 観光案内所の運営

伊勢市駅、宇治山田駅観光案内所における運營業務を（社）伊勢市観光協会に、二見浦観光案内
所における運營業務を二見浦観光物産組合等に委託した。また、伊勢市駅及び宇治山田駅観光案内
所は三重県では少ない外国人観光案内所（V案内所）に指定されており、外国人旅行者に対しても
観光案内を行なった。

委託金額 10,915,950 円（契約期間 平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

(1) 伊勢市駅観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
総件数	7,231	9,671	4,691	6,938	9,896	7,601	7,012	6,469	6,510	10,661	5,940	8,433	91,053
外国人 件 数	135	80	72	119	143	111	136	126	110	111	78	170	1,391

(2) 宇治山田駅観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
総件数	2,283	3,318	2,065	2,769	3,964	3,137	2,788	2,686	2,256	3,658	2,391	3,482	34,797
外国人 件 数	16	31	17	32	32	31	47	37	35	39	20	56	393

(3) 二見観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
総件数	760	1,085	742	769	1,439	775	869	831	851	1,338	1,168	1,194	11,821
外国人 件 数	23	21	14	19	32	16	24	23	8	16	12	14	222

2 (社)伊勢市観光協会への活動支援

平成4年に社団法人化された伊勢市観光協会は、昭和25年に宇治山田市観光協会として設立されて以来、行政と営利を目的とする観光関係事業者を中心とした民間企業との中間的な存在で、旅客誘致に係るイベント実施や観光宣伝など、様々な分野で弾力的・柔軟的に活動した。

財政基盤の強化と事業展開の推進のため財政的な支援として、5,878,000円を助成した。

3 観光モニュメントの整備

老朽化が著しい観光モニュメント2箇所の塗装を行い、観光客へのおもてなしを図った。

(1) 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
勢 田 町 地 内	(注1) (注2) I C モニュメント 塗装工事	モニュメント塗装 一式	円 656,250	23. 6. 2	23. 6. 30
楠 部 町 地 内	(注1) (注2) 大鳥居塗装工事	大鳥居塗装 一式	6,634,950	23. 12. 22	24. 3. 12
計	2 件	—	7,291,200	—	—

(注1) 都市計画課施行

(注2) 平成22年度から繰越

○ 旅客誘致受入宣伝事業

1 La Festa Primavera 2011

近畿地方を中心とした7府県を走るクラシックスポーツカーの祭典「La Festa Primavera 2011」が開催された。4月18日(月)に伊勢神宮内宮周辺のスタンプポイントに55台が通過し、イベントの安全管理について、主催者及び地元と協力して誘導を行った。

2 おもてなしスキルアップ事業

外国人観光客に特化したおもてなしを考える団体「Welcomeいせの会」が、現在、減少傾向にある外国人観光客を取り戻すために、外国人の観点から見た観光地“伊勢”に何が必要かを聞き取り、外国人観光客への今後のおもてなしを考えていくことを目的に伊勢ツアーを開催した。

また、作成した案内カードを、観光案内所等に配置し、外国人観光客のおもてなしを図った。

3 第4回美し国三重「寄せ植え」コンテスト

5月27日(金)～29日(日)に外宮前広場で三重県種苗園芸協会の主催により、第4回美し国三重「寄せ植え」コンテストが開催された。コンテナガーデン部門、ハンギングバスケット部門、フレーム部門、マスター&プロ部門で競われ、三重県内から236点の作品が展示された。

来場者 12,000人

○ 観光行事振興事業関係

1 第59回伊勢神宮奉納全国花火大会【平成23年7月16日（土）】

北は秋田県から南は鹿児島県の全国各地から選抜された52業者の花火師が参加する競技花火大会で、打上花火の部52組、スターマインの部10基の2部門で競われ、競技大会ならではの格調、質ともに全国トップレベルの花火玉約9,000発が打ち上げられ、約23万人が観覧した。

オープニングには、東日本大震災の復興を祈念したスターマインを打ち上げた。今回もNPO団体の協力により、83名のボランティアが、ごみの持ち帰り及び分別ナビゲート活動を行い環境に配慮した大会運営に努めた。

2 春まつり【平成23年4月1日（金）～10日（日）】

日本のさくら名所百選の宮川堤において、（社）伊勢市観光協会が主になって運営し、宮川保勝会の協力により、訪れた花見客の安全対策等を行った。

3 日本観光交流・伊勢会議

6月11日（土）に（社）伊勢市観光協会とともに「第7回日本観光交流・伊勢会議及び第44回観光祈願祭」を開催し、観光庁長官 溝畑宏氏の基調講演「観光立国に向けた地域づくり戦略について」や観光関係事業者等によるセミナーを行った。

○ 伝統文化推進事業

1 伊勢のまつりブランド化推進事業【平成23年10月14日（金）～15日（土）】

日本全国の有名な祭り19団体、約1,000名による響演「祭りのまつり」がお木曳の道（県道伊勢南島線）や県道鳥羽松阪線、厚生小学校体育館で開催され、北御門広場ではふるさとの特産品や伊勢志摩の食と物産市「奉納市」も行った。

また、16日（日）には、伊勢神宮奉仕会主催の初穂曳が実施された。

観客数延べ 66,000人 参加人数 4,360人

2 民俗伝統行事推進事業

平成25年に行われる「お白石持行事」に向けて、各地元奉獻団における出発地、奉獻順序を決定し、行事本番を想定した第1回現場シミュレーション等の準備を進めた。

また、「お白石持」の幟、リーフレット作成、TV番組制作等による情報発信に努めた。

○ 朝熊山麓公園サッカー場整備事業

1 フットボールヴィレッジ構想を推進するためのグラウンド整備を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
朝 熊 町 地 内	(注1) フットボール場整備 に伴う測量業務委託	平板測量 4.3ha 4級水準測量 2.0km 路線測量 0.25km	円 1,260,000	23. 4.11	23. 5. 2
〃	(注1) フットボール場整備 に伴う地質調査業務 委託	ボーリング 6箇所	4,153,800	23. 5.27	23. 7.15

朝熊町 地内	(注1) フットボール場整備 に伴う詳細設計業務 委託	フットボール場詳細設計 計2面4.0ha	円 11,525,850	23. 5. 27	23. 7. 15
〃	(注1) (注2) フットボール場整備 に伴う岡本太郎作品 補修業務委託	撤去・補修・設置 2体 保管 14箇月	11,919,600 【内訳】 平成23年度 7,822,500 平成24年度 4,097,100	23. 7. 25	24. 10. 31
〃	(注1) フットボール場整備 に伴う岡本太郎作品 移設設計業務委託	移設設計業務 一式	2,835,000	23. 8. 12	24. 2. 15
計	5件	—	31,694,250	—	—

(注1) 基盤整備課施行

(注2) 平成24年度債務負担行為

(2) 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
朝熊町 地内	(注) フットボール場整備 に伴う造園工事	メタセコイヤ伐採 20本 その他雑木伐採 一式 移植工 37本	円 13,335,000	23. 9. 22	23. 12. 15
〃	(注) フットボール場整備 に伴う造成工事	掘削工 20,800 m ³ プレキャスト擁壁工 433m 現場打擁壁工 一式 排水構造物工 555m 集水桝工 10基 舗装工 777 m ² 構造物撤去工 一式	94,383,450	23. 9. 30	24. 2. 27
計	2件	—	107,718,450	—	—

(注) 基盤整備課施行

○ 協力・協働による観光関連事業関係

1 観光行事等への後援

市内開催の各種観光行事等へ後援し、周知宣伝等の協力を行った。

開 催 日	名 称
23. 4. 17 (日) ～ 4. 18 (月)	La Festa Primavera 2011
4. 23 (土)	大仏山公園チャリティーイベント
5. 3 (祝) ～ 5. 5 (祝)	読売新聞杯第26回日本少年野球中日本大会
5. 3 (祝) ～ 5. 15 (日)	第21回朝熊山つつじ祭
5. 4 (祝)	美し国元気祭 天下一・武道会 2011
5. 5 (祝)	倭姫宮春の大祭奉祝行事
5. 5 (祝)	猿田彦神社御田祭
5. 14 (土) ～ 5. 15 (日)	第24回伊勢楽市

6. 11 (土)	第 7 回日本観光交流・伊勢会議 (第 44 回日本観光祈願祭)
6. 19 (日)	COUNTRY HEAVEN 伊勢 2011
7. 3 (日)、9. 4 (日)	G h e t t o R e d H o t
7. 14 (木)	第 27 回二見大祭しめなわ曳
7. 21 (木) ～ 7. 23 (土)	伊勢参宮の鉄道歴史展
7. 26 (火) ～ 7. 29 (金)	2011 プレインターハイユース交流大会
7. 30 (土)	神宮奉納伊勢薪能
8. 1 (月)	八朔参宮「第 14 回外宮さんゆかたで千人お参り」
9. 10 (土) ～ 9. 11 (日)	第 9 回神恩感謝日本太鼓祭
9. 18 (日)	伊勢志摩舞祭～We (ハート) J a p a n ～
9. 18 (日)	第 9 回全国シニア・ユニホック大会
9. 22 (木) ～ 9. 27 (火)	第十一回「伊勢神宮展」
10. 1 (土) ～10. 2 (日)	第 7 回神宮奉納全国惑ラグビー伊勢大会
10. 15 (土)	第 11 回神嘗奉祝祭「祭のまつり」
10. 22 (土)	大仏山公園オートムフェスティバル
10. 22 (土)	第 1 回東日本大震災チャリティイベント i n 伊勢安土桃山文化村
10. 28 (金) ～10. 29 (土)	伊勢ヨイ夜ナ
11. 1 (火) ～11. 15 (火)	猿田彦神社七五三祭
11. 4 (金) ～11. 6 (日)	全米女子プロゴルフ協会公式戦 2011 ミズノクラシック～伊勢志摩～
11. 5 (土)	「倭姫宮秋の大祭」奉祝行事
11. 5 (土) ～11. 6 (日)	第 25 回伊勢楽市
11. 6 (日)	秩父宮杯第 43 回全日本大学駅伝対校選手権大会
11. 20 (日)	夫婦の町の中心で愛を叫ぶ“めおチュー”
11. 21 (月) ～11. 22 (火)	真珠婚おかげ参り 真珠婚おかげ参りWe l c o m e P a r t y
11. 26 (土)	読売日本交響楽団メンバーと皇學館大学雅楽部メンバーによる伊勢神宮奉納演奏「雅の奏」
12. 11 (日)	第 23 回伊勢民踊まつり
12. 11 (日)	検定「お伊勢さん」
12. 28 (水) ～24. 1. 1 (祝)	第 39 回伊勢迄歩講
24. 2. 18 (土) ～ 2. 19 (日)	第 3 回おひなさまカップ i n 二見
2. 23 (木)	おもてなし三重観光ボランティアガイド連絡協議会 平成 23 年度松阪・伊勢・鳥羽・志摩地区交流研修会
3. 20 (祝)	「わいわい広場 2012」 i n サンアリーナ
3. 28 (水) ～ 3. 30 (金)	朝熊招待ユースサッカー大会 2012 春